

挨拶

文部科学省採択「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」
北信のシームレスながん医療を担う人材養成
次世代北信がんプロ 事業推進代表者 金沢大学長

和田 隆志



文部科学省の「がんプロフェッショナル養成プラン」は、がん対策基本法が施行された2007年にはじまった、がんの専門医療人材を養成する事業です。

第1期・第2期は「北陸がんプロ」として、富山大学、福井大学、金沢医科大学、石川県立看護大学と連携し、事業に取り組みました。第3期には新たに信州大学にご参画いただき、「北信がんプロ」として活動いたしました。

第4期目の今回は、さらに長野県看護大学のご協力を賜り、「次世代北信がんプロ」として、信州大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学及び本学の6大学で、活動しています。

第4期のがんプロには、①がん医療の現場で顕在化している課題に対応する人材、②がん予防の推進を行う人材、③新たな治療法を開発できる人材、等のがん専門医療人材の養成が求められております。

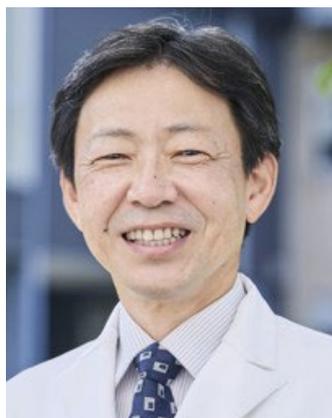
北信地域は全国平均と比較し15年以上進んだ超少子高齢化社会です。診断から治療・終末期医療まで、全医療を居住地域で受ける患者さんが多い地域です。

そのため、第4期では「北信のシームレスながん医療を担う人材養成」というテーマを掲げています。患者の居住地域で診断から治療・終末期医療まで質の高い医療をシームレスに提供する多職種チーム医療人材を、戦略的に養成しています。

2年目を迎えた今年度は、各大学の強みを合わせた相互補完的教育コースとして正規課程15コース、インターシップ10コースを立ち上げ、目標を上回る履修者を受け入れることができました。

今後とも、石川県、富山県、福井県、長野県全てのがん拠点病院、医師会、がんプロ履修者が設立した患者会等と連携し、地域のがん医療を担う人材の養成に努めてまいります。

コーディネーター 挨拶



次世代北信がんプロ統括コーディネーター

金沢大学 医薬保健研究域 医学系 呼吸器内科学 教授

矢野 聖二

「北信のシームレスながん医療を担う人材養成」をテーマに掲げ、金沢大学、信州大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学、長野県看護大学の6大学連携の枠組みでスタートした次世代北信がんプロですが、2年目の活動を終えることができました。

令和6年4月から、大学院正規課程として15の教育コースが立ち上がり、44名の履修者（32名が目標）を迎え入れることができました。また、社会人医療従事者が受講できるインテンシブコースも10コースが立ち上がり、116名が履修（59名が目標）してくれています。

がん医療に必要な基礎知識を学習してもらうためのe-learning教材も連携6大学の教員を中心に、オリジナルな教材を作成しました。新3科目である「がん医療の現場で顕在化している課題に対応する人材養成」には8教材、「がん予防の推進を行う人材養成」には7教材、「新たな治療法を開発できる人材の養成」には7教材を作成し、筑波大学が提供する「がんプロオンライン教育プラットフォーム」から視聴できる環境が整い、履修生が活用してくれています。また、双方向のWebセミナーとして「オンコロジーセミナー」と「IPW緩和ケアコース多職種協働事例検討研修」を立それぞれ6回開催し、多数の参加者を得て個々のスキルアップにつなげていただいていると思っております。

6大学合同の市民公開講座も2024年11月4日に、北陸新幹線が新たに開業した福井駅前のホテルで開催し、多くの現地およびWeb参加者を得てがん診療の最新情報を提供いたしました。

独自の試みとして「大学院生交流セミナー」を2024年9月1日に金沢駅前会場でオンサイト開催しました。13演題の発表が大学院生やがんプロ経験者からなされ、サイエンスや医療情報の新しい情報を共有するとともに、お互いの親交を深めました。

次世代北信がんプロでは、これからも地域がん医療を支えるがん医療人の養成に努めてまいりますので、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



富山大学附属病院 臨床腫瘍部 教授

総合がんセンター長

林 龍 二

次世代北信がんプロ：富山大学の役割

富山大学開設大学院正規課程コース

「がんチーム医療実践コース」医学部

「腫瘍循環器学コース」医学部

「がん治療において地域医療に貢献できる薬剤師および新規がん治療薬開発研究者養成コース」薬学部

富山大学では上記3つのコースを設置しています。これは「がん医療の現場で顕在化している課題に対応する人材の養成」を目指すために今回の次世代がんプロ事業開始に当たり新たに設置しました。次世代北信がんプロのテーマである「シームレスながん医療」にまさに直結する課題で、様々な患者さんの多様なニーズに対応することを目的としています。個々の患者さんの求めに応じるためには従来の医師のみによる診療だけではなく看護師、薬剤師はもちろんのこと、ソーシャルワーカーや地域のケアマネージャーなど多職種と共同したチーム医療の構築が何より大切となります。このため富山大学では「がんチーム医療実践コース」を設置し、シームレスな診療を担う人材を養成します。

また、新たな学際領域として「腫瘍循環器病学」が注目を集めています。

富山大学では今まではあまりがん診療とは縁がないように思われていた循環器科との共同により「腫瘍循環器コース」を立ち上げました。循環器学とは主に心不全、高血圧などの動脈硬化症、血管内で血の塊ができる血栓塞栓症などを専門に扱います。こうした疾患は実はがんに罹患した患者で高率に発症することが知られており、両者合併例を連携して診療することがとても大切です。それぞれの専門家が連携して、専門だけに偏らない人材育成を目指します。

さらに、主に薬学を専攻する受講者を中心として「がん治療において地域医療に貢献できる薬剤師および新規がん治療薬開発研究者養成コース」を設置し、地域薬局に対応し、新規治療にも貢献できる人材を養成します。このように時代の流れとともに変わる必要性を的確にとらえて、そこに対応する高度人材を養成することががんプロ事業であり、特に富山大学では北信地域で必要とされる人材を養成することを目指してまいります。

5年後、10年後には皆様のお役に立つ高度人材が北信地区のがん診療を支えてくれることを願っております。



福井大学医学部附属病院

がん診療推進センター

センター長・診療教授

廣野 靖 夫

4期目を迎えたがんプロフェッショナル養成プラン（がんプロ）において、福井大学は2007年の第1期の開始からずっと地域との連携や在宅医療を重視してきました。がん治療において切れ目のない医療やケアを行うことで治療の継続性や患者・家族のQOLが向上すると考えられます。今期の次世代のがんプロフェッショナル養成プランにあたって、北信がんプロでは「シームレスながん医療を担う人材養成」を目標に掲げました。がん医療は専門化・細分化が進んでおり、施設や職種を超えた連携が必要になってきています。

福井大学は本科生コースとして「統合型がん医療専門医コース」、インテンシブコースとして「シームレス型緩和医療コース」「シームレス型栄養管理コース」を開設しました。診療科横断的な幅広い知識を持つ専門医の育成とがん医療の基礎の部分となる緩和ケアや栄養管理も習得した医療人の育成を主眼としています。これらのコースでは次世代のがん専門医を育成するのはもちろん、多職種の力でがん医療を進めていくために教育活動を行っていきます。

その内容も最新の診断から治療、さらに終末期医療まで質の高い医療がシームレスで提供できるように、幅広い知識を習得してもらえるようにします。そのために新たなe-learningを提供しました。また、3期まで行ってきましたオンコロジーセミナー、福井大学独自の看護セミナー、大学内だけでなく地域の医療者も含めたがん医療に関する様々な内容のセミナー、新しいがん治療の流れを県内の医療機関や一般市民の方に伝えるためのオンデマンド配信、がん医療情報冊子の作成・配布等も引き続き行っております。

さらに福井大学のがんプロホームページには『専門医マップ』を作成し、がんプロ卒業生も含めた県内病院に在籍する各専門医の所在を見える化し、一般の方に利用していただけるようにしました。

このほかにも福井大学が以前から力を入れてきました教育学部でのがん教育の講義や県内教職員向けがん教育教材の提供も引き続き行っています。

今年度は北信がんプロ合同市民公開講座を福井大学が担当させていただき、6大学の先生方のご協力のもとに開催し、多くの方々の参加がありました。

北信地区全体で協力しつつ、次世代の医療人の育成に努め、地域全体のレベルアップを図ってまいりますので、皆様よろしくお願いたします。



金沢医科大学医学部腫瘍内科学 教授

金沢医科大学病院腫瘍内科長

安本和生

第4期がんプロ（次世代北信がんプロ）スタートにあたって

文部科学省が進めるがんプロフェッショナル養成プラン（「がんプロ」）も次世代の第4期（6年間）が計画され、金沢大を拠点とする北信エリアの富山大、福井大、信州大、長野県看護大と当学の総勢6大学が連携した「北信がんプロ」として採択されたことは大変喜ばしい限りである。今回次世代北信がんプロの目指すテーマは、「北信地域のシームレスながん医療を担う人材の養成」とされ、2023年9月キックオフミーティングを機に無事スタートをきった。

本4期がんプロの主なテーマは3つ。①がん医療の現場で顕在化している課題に対応する人材養成、②がん予防の推進を行う人材養成、③新たな治療法を開発できる人材養成である。国はこのがんプロ事業を通して「地域完結型医療」を推進目標としている。当院は、地域がん診療連携病院として県の指定を受け、過疎化・少子化・高齢化が進む遠隔地の能登地区（中能登・北部能登エリア）をおもに担当しており、まさに不足顕在化する様々な医療課題が存在する。

当学はテーマ①の「がん医療の現場で顕在化する専門人材の不在に対応する人材の育成」を目指す。本プロジェクトを通して質の高いがん医療者の育成を図り、地域医療にシームレスで安心と信頼を届けられる全人的個別化医療の実現可能な人材の養成」を目標として掲げる。

すなわち、すべての患者や家族が安心して診断から治療さらには看取りに至るまで医療全体にわたり、個々の腫瘍特性から社会的背景までも考慮に入れた満足感のえられる最適な質の高い医療を提供できる人材を養成する。知識と経験、相互連携による柔軟な相互補完的教育による本次世代北信がんプロ人材養成プロジェクトから、次世代医療の担い手となる“真の医療人”をひとりでも多く輩出できることを切に願っている。



信州大学医学部小児医学教室 教授

信州大学遺伝子・細胞治療研究開発センター センター長

中 沢 洋 三

信州大学の事業推進プロジェクトリーダーを務めさせていただく中沢と申します。前回の第3期北信がんプロでは、「超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成」というテーマのもと、北信4県（石川県、富山県、福井県、長野県）の小児・AYA（思春期・若年成人）世代のがん患者の疫学調査とがんプロ大学院生の教育を担当させていただきました。その成果として、北信4県の小児がん・AYA世代のがん診療の実態を迅速かつ的確にお伝えできるデータベースを構築することができました。

今後も引き続き、北信4県の最新の小児がん・AYA世代がん情報を医療者および県民の皆様にお届けしていきたいと考えております。

さて、今回の第4期北信がんプロでは、「北信のシームレスながん医療を担う人材養成」をテーマに、①がん医療の現場で顕在化している課題に対応する人材、②がん予防の推進を行う人材、③新たな治療法を開発できる人材を養成することになりました。

②に関しては、偶発的に遺伝性腫瘍の素因が発見された患者・家族のケアとサーベイランスを担う人材と、希少がん患者・遺伝性がん患者・小児がん経験者に対する二次がん予防の継続的なサポートを行う人材の養成が急務です。そこで、信州大学では大学院院修士課程に「シームレス型がん予防推進認定遺伝カウンセラー養成コース」を設置し、小児・AYA世代から高齢者まで世代を超えて、個別化予防～がんゲノム医療～遺伝性腫瘍～緩和ケアまでシームレスに見通した上でがん予防を推進できる認定遺伝カウンセラーを養成したいと考えております。

③に関しては、免疫チェックポイント阻害薬による免疫療法が奏功しない患者やがん遺伝子パネル検査に基づいた分子標的治療が適応とならない患者に対する新規がん免疫療法を開発できる人材の養成が期待されています。そこで、信州大学では大学院院博士課程に「遺伝子・細胞治療研究者養成コース」を設置し、CAR-T細胞療法などのがん免疫療法・遺伝子治療を理解し実践できる医療人材、新規の遺伝子・細胞治療を研究開発できる基礎・臨床研究医、再生医療等製品の臨床開発に精通した創薬研究者を養成したいと考えております（遺伝子治療認定医・認定技術士）。

これらのがん医療人材を養成することによって、北信4県のがん医療の発展に尽力したいと考えております。何卒宜しく願いいたします。



長野県看護大学

看護学研究科 成人看護学

柳原清子

長野県看護大学は、「次世代北信がんプロ」第4期から参加させていただいています。北信がんプロ6校の中で唯一の看護の単科大学であり、大学院でがん看護専門看護師（がんCNS）の育成を行っています。

北信がんプロのテーマは、「北信のシームレスながん医療を担う人材養成」にあります。このシームレスには、3つの視座が含まれています。1つ目は「場の連携」で、北陸-信州地域での、教育機関（大学院）および医療機関連携を通してのがん医療・がん看護の質の向上です。2つ目は「人の連携」で、がん高度医療における多職種での専門職間連携（IPW）です。そして3つ目は「専門性の融合」で、がん患者・家族の発達段階を踏まえての小児・AYA・成人期・老年期や母性（女性）とがん、遺伝と家族などの特有の領域で、学問的融合をはかり包括的支援を計画するものです。

これらの人材育成のために、『大学院正規教育課程』においては、がん看護CNS教育に加え、このCNSコースを持つ他の看護大学院と共同して、「がん看護理論」と「緩和ケア」の合同セミナーを開催し、多くの受講者を得ています。

さらに一般の医療者を対象とする『インテンシブコース』では、2つのプログラムを準備しました。1つは「IPW 緩和ケアコース：多職種協働事例検討」のプログラミングです。IPW（Interprofessional Work）とは、複数の領域の専門職者が各々の、技術と役割をもとに、共通の目標を目指す協働のことです。この研修では多職種が集まって、がんプロのテーマである「現場で顕著化している課題への対応」として、医療倫理問題やコンフリクト対応などを学修してきました。2つ目は看護師を対象とした「がん看護アドバンス研修」を計画し、幅広い看護師を対象とした研修を行ってきています。

長野県看護大学は、「がん看護」の専門教育機関として、がん看護の質向上を担っていく所存です。

皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

目次

第1部 事業について

事業概要	1
事業課題と対策	2
事業目標	4
事業体制	7

第2部 事業活動報告

1. 行事一覧（2024年4月～2025年3月）	8
2. 各種セミナー開催実績（2024年4月～2025年3月）	
オンコロジーセミナー	9
多職種協働事例検討	11
市民・県民公開講座	13
FD講演会	15
各種セミナー	17
国際セミナー	18
大学院生交流セミナー	19
3. 学長連絡協議会・運営協議会開催について	22
4. 各種委員会開催について	23
5. 筑波大学全国オンライン教育のプラットフォーム	24
6. 紙面掲載	25
7. アンケート結果	26

第3部 外部評価

外部評価実績報告

外部評価実施	32
次世代北信がんプロ外部評価委員名簿	33
外部評価結果	34

事業課題と対策

テーマ①：がん医療の現場で顕在化している課題に対応する人材養成

3期北信がんプロ（金沢大、信州大、富山大、福井大、金沢医大、石川看護大）では、全国平均より少子高齢化が進む北信地域と名付けた長野、富山、石川、福井の4県で活躍できる先進的がん医療人の養成を目指し、正規課程充足率145%を達成し49名のがん関連資格取得者を輩出した。これらの活動を通じ、北信地域は超少子高齢化に加え、多くのがん患者が居住地・勤務地域を中心とする医療圏で診断から治療・終末期医療までの全医療を受けるという特徴を有することが把握され、診断から治療・終末期医療まで質の高い医療を居住地でシームレスに（切れ目なく）患者に提供する多職種チーム医療人材の養成が課題であることが顕在化した。地域内医療連携不足があれば、診断・治療開始の遅れや在宅医療への移行の遅れ等により、がん患者が不利益を被る可能性がある。本事業では、北陸新幹線沿線で交流が可能な長野、富山、石川、福井の4県6大学が連携し、次世代北信がんプロとして、自分の専門領域以外のがん医療分野の最新情報も学んだ医療従事者を養成することにより、診断から治療・終末期医療まで患者が必要とする医療を速やかに提供できる体制を確立し、がん患者と家族が居住地で安心して医療を受けられる環境の整備と人材育成モデル確立を目指す。具体的には、がん予防・検診、画像診断、病理診断、標準的治療、副作用対策、早期からの緩和ケア、在宅医療を含む終末期医療に至るまでの最新情報を学修できるe-learning教材を6大学が連携して作成（がんプロオンライン教育に参加）する。

また、3期事業で確立したWeb会議システムを活用した双方向性の研修会や演習（オンコロジーセミナー、多職種協働型緩和ケアセミナー）を行う。これらを連携6大学の大学院生や地域の医療従事者が受講することで、多職種連携・施設間連携の意識を涵養する。テーマ①では、在宅医療や身体的・精神的・社会的な痛みのケアに対するがん患者・家族からのニーズが高く、診断時からの緩和ケアの実施に加え在宅終末期医療の提供率の向上が課題である。また、金沢大には核医学診療科があり核医学診療を担う人材は多いが、地域に放射線治療医や病理医は少なく、腫瘍循環器学や腫瘍腎臓病学、老年腫瘍学を専門とする医療従事者も少ない。

これらの課題に対し、富山大と福井大、金沢医大がそれぞれ緩和ケア、在宅医療、病理診断に習熟した医師・歯科医師を、長野県看護大が小児から高齢者まで対応できるがん看護専門看護師(CNS)を養成する正規コースを新設する。金沢大に医学物理士・放射線技師等、細胞検査士の正規コースをそれぞれ新設し、病理診断や放射線治療の質向上に必要な人材を養成する。それ以外の専門医の志望者が少なく個々の教育コース新設は困難なため、金沢大・富山大・福井大・金沢医大にこれら課題を包括的に学修できるインテンシブコースを新設し、放射線治療や病理診断、腫瘍循環器・腎臓病学、老年腫瘍学に習熟した人材を養成し、北信地域の上記医療レベルを底上げする。

テーマ②：がん予防の推進を行う人材養成

全国より高齢化が進んでいる北信4県では特に高齢者ががん患者が多く、平成27～29年にがん死亡者数がピークとなるも未だ減少には転じていないため、非高齢者に加え高齢者のがん予防も行う、次世代型がん予防を担う人材養成が課題である。がんゲノム医療拠点病院に指定されている金沢大、信州大、富山大では令和5年3月末までにエキスパートパネルを361回（1530症例、延べ9439名が参加）開催し、がんゲノム医療に携わる人材の教育を行ってきた。一方で、二次的所見が得られた患者へのケアやその家族に対するサーベイランスを担う遺伝医療の専門医、認定遺伝カウンセラーのニーズが高まり、北信地域に定着して遺伝医療を担う人材の不足が課題となっている。さらに、3期の北信がんプロにおけるがんデータベース事業では、北信4県の小児・AYA世代がんの診療実態が明らかとなり（Okura E et al, Jpn J Clin Oncol. 2022）、希少がん患者・遺伝性がん患者・小児がん経験者に対する二次がん予防や就学・就労・メンタルヘルスに対する継続的なサポートがAYA世代における喫緊の課題であることが浮き彫りになった。テーマ②では、金沢大が次世代型個別化がん予防医療の医師・歯科医師向け正規コースを新設し、マルチオミックス解析とビッグデータを活用し、がんの0次予防を実践できる人材を養成する。また、信州大と金沢大が、認定遺伝カウンセラーを養成する正規コースを新設し、小児・AYA世代から高齢者まで世代を超えて、個別化予防～がんゲノム医療～遺伝性腫瘍～緩和ケアまでシームレスに見通した上でがん予防を推進できる人材を養成する。さらに、金沢大にがん経験者の精神的支援を担うサイコオンコロジスト（腫瘍臨床心理士）を養成する正規コースを新設する。インテンシブコースとして、信州大に臨床遺伝専門医を、金沢大に心理社会的ケアを担う看護師を養成するコースを新設する。

テーマ③：新たな治療法を開発できる人材の養成

近年、免疫チェックポイント阻害薬（ICI）による免疫療法や遺伝子解析に基づいた分子標的治療により一定割合のがん患者の予後は改善されたが、ICIが奏効しない症例や分子標的治療が適応とならない患者も多く、新規分子標的の同定および新規がん免疫療法の開発が課題である。一方で、重篤な副作用が発生しICIや分子標的治療を継続できない症例も存在するため、副作用対策や副作用予防も課題となっている。よって、新規免疫療法や分子標的療法の開発および副作用対策によるより良い個別化医療を担える人材の養成が必要である。

テーマ③では、信州大に遺伝子・細胞治療研究者の正規コースを新設し、新規CAR-T療法の研究開発を通じて、がん免疫療法・遺伝子治療に精通した創薬人材および日本遺伝子細胞治療学会認定医・認定技術士を養成する。CAR-T細胞シーズの探索研究に加えて、がんの基礎研究者・創薬ベンチャー・リサーチアドミニストレーターによる講義・演習や米国ベ일러医科大学との人材交流も積極的に取り入れ、リサーチマインドを持つ臨床研究医・医療従事者並びに国際競争力の高い創薬研究者の養成に取り組む。また、金沢大にがん個別化医療開発コースを新設し、ICIによる免疫療法や分子標的薬の耐性克服研究を通じて、最適の個別化医療を開発する基礎・臨床研究医を養成する。さらに、富山大と金沢大ががん専門薬剤師の正規コースを新設し、ICIやCAR-Tなどの免疫療法および分子標的治療における副作用対応や副作用予防に精通したがん専門薬剤師や個別化医療の開発研究を担う薬剤師を養成する。

事業目標

1. 教育コースの立ち上げ時期

大学院正規課程（令和6年4月）、インテンシブ（主に令和5年11月）

2. 教育コースの実施数

大学院正規課程（15コース）、インテンシブ（10コース）

3. 教育コースの履修者数・修了者数

大学院正規課程コース 令和6年度（履修者登録数/目標数）

大学名	大学院正規課程 コース名	R5	R6	R7	R8	R9	R10	計
金沢大学	次世代がん予防エキスパート養成コース		4/3	3	3	3	3	15
	がん個別化医療開発コース		4/4	4	4	4	4	20
	がん薬物療法ファーマシスト サイエンティストコース		1/1	2	2	2	2	9
	次世代認定遺伝カウンセラー養成コース		1/2	2	2	2	2	10
	サイコオンコロジストコース		1/2	1	2	1	2	8
	包括的な放射線診療を見据えた 医学物理士コース		11/5	5	5	5	5	25
	細胞検査士資格取得コース		5/3	3	3	3	3	15
信州大学	遺伝子・細胞治療研究者養成コース		2/2	2	2	2	2	10
	シームレス型がん予防推進 認定遺伝カウンセラー養成コース		1/1	1	1	1	1	5
富山大学	がん患者チーム医療修得コース		4/2	2	2	2	2	10
	腫瘍循環器学コース		1/1	1	1	1	1	5
	がん治療において地域医療に貢献できる 薬剤師および新規がん治療薬開発研究者 養成コース		2/1	1	1	1	1	5
福井大学	統合型がん医療専門医コース		3/2	2	2	2	2	10
金沢医科大学	がん遺伝子に基づく個別化医療を担う がん専門医療人養成コース		1/1	1	1	1	1	5
長野県看護大学	ライフステージと共生の包括ケアコース		3/2	2	2	2	2	10
受入合計人数			44/32	32	33	32	33	162

インテンスブコース 令和6年度 (履修者登録数/目標数)

大学名	インテンスブコース名	R5	R6	R7	R8	R9	R10	計
金沢大学	包括的がん治療医養成コース	2	6/6	6	6	6	6	32
	次世代がん薬物療法最適化 薬剤師コース		2/1	2	3	3	3	12
	サイコオンコロジーナーシングコ ース		1/2	1	2	1	2	8
信州大学	シームレス型がん予防推進臨床 遺伝専門医養成コース	1	1/1	1	1	1	1	6
富山大学	がんチーム医療実践コース	1/1	4/2	2	2	2	2	11
	がん治療において地域・チーム医療 の要となる薬剤師養成コース	1/1	2/2	2	2	2	2	11
福井大学	シームレス型緩和医療コース	4/2	13/12	12	12	12	12	62
	シームレス型栄養管理コース	2/2	12/12	12	12	12	12	62
金沢医科大学	分子病理の視点からゲノム個別化 医療を推進するがん専門医療人養 成コース		1/1	1	1	1	1	5
長野県看護大学	IPW 包括的緩和ケアコース	88/10	75/20	20	20	20	20	110
受入合計人数		97/19	116/59	59	61	60	61	319

4. 事業予定 (シンポジウム・セミナー等)

【2023年度】

オンコロジーセミナー (6大学と24がん拠点病院等) 3回 50名/回

多職種協働型緩和ケアセミナー (6大学と24がん拠点病院等) 3回 50名/回

合同市民公開講座 (6大学) 1回 200名

【2024年度】

オンコロジーセミナー (6大学と24がん拠点病院等) 6回 50名/回

多職種協働型緩和ケアセミナー (6大学と24がん拠点病院等) 6回 50名/回

合同市民公開講座 (6大学) 1回 200名

大学院生交流セミナー (6大学) 1回 30名

他がんプロとの合同シンポジウム (12大学) 1回 80名

【2025 年度】

オンコロジーセミナー（6 大学と 24 がん拠点病院等）6 回 50 名/回
多職種協働型緩和ケアセミナー（6 大学と 24 がん拠点病院等）6 回 50 名/回
合同市民公開講座（6 大学）1 回 200 名
大学院生交流セミナー（6 大学）1 回 30 名
国際シンポジウム（10 大学）1 回 100 名

【2026 年度】

オンコロジーセミナー（6 大学と 24 がん拠点病院等）6 回 50 名/回
多職種協働型緩和ケアセミナー（6 大学と 24 がん拠点病院等）6 回 50 名/回
合同市民公開講座（6 大学）1 回 200 名
大学院生交流セミナー（6 大学）1 回 30 名
他がんプロとの合同シンポジウム（16 大学）1 回 100 名

【2027 年度】

オンコロジーセミナー（6 大学と 24 がん拠点病院等）6 回 50 名/回
多職種協働型緩和ケアセミナー（6 大学と 24 がん拠点病院等）6 回 50 名/回
合同市民公開講座（6 大学）1 回 200 名
大学院生交流セミナー（6 大学）1 回 30 名
他がんプロとの合同シンポジウム（16 大学）1 回 100 名

【2028 年度】

オンコロジーセミナー（6 大学と 24 がん拠点病院等）6 回 50 名/回
多職種協働型緩和ケアセミナー（6 大学と 24 がん拠点病院等）6 回 50 名/回
合同市民公開講座（6 大学）1 回 200 名
大学院生交流セミナー（6 大学）1 回 30 名
他がんプロとの合同シンポジウム（16 大学）1 回 100 名

事業体制

金沢大学

信州大学

富山大学

福井大学

金沢医科大学

長野県看護大学

学長連携協議会



次世代北信がんプロ運営協議会



外部評価委員会



- 各6大学
- 地域医療機関
- 医師会
- 自治体
- 患者会 等



ステアリング

コミッティ委員会



教務委員会



セミナー委員会



データベース委員会

第2部 事業活動報告

1. 行事一覧 (2024年4月～2025年3月)

開催日	行事一覧	主催大学
2024年5月11日	第1回 IPW 緩和ケアコース・多職種協働事例検討研修	長野県看護大学
2024年5月15日	第4回 オンコロジーセミナー	金沢大学
2024年7月13日	第2回 IPW 緩和ケアコース・多職種協働事例検討研修	長野県看護大学
2024年7月24日	第5回 オンコロジーセミナー	金沢大学
2024年9月1日	大学院生交流セミナー	金沢大学
2024年9月2日	第44回 腫瘍病理セミナー (次世代北信がんプロFD講演会)	金沢医科大学
2024年9月5日	第6回 オンコロジーセミナー	金沢大学
2024年9月21日	第3回 IPW 緩和ケアコース・多職種協働事例検討研修	長野県看護大学
2024年10月19日	次世代北信がんプロ金沢医科大学市民公開講座	金沢医科大学
2024年11月4日	第2回 次世代北信がんプロ合同市民公開講座	福井大学
2024年11月7日	第7回 先進呼吸器外科学セミナー (次世代北信がんプロFD講演会)	金沢医科大学
2024年11月9日	第4回 IPW 緩和ケアコース・多職種協働事例検討研修	長野県看護大学
2024年11月19日	次世代北信がんプロ看護セミナー	福井大学
2024年11月28日	第5回 病態診断医学セミナー (次世代北信がんプロFD講演会)	金沢医科大学
2024年12月4日	第46回 腫瘍病理セミナー (次世代北信がんプロFD講演会)	金沢医科大学
2024年12月5日	第7回 オンコロジーセミナー	金沢大学
2025年1月11日	第5回 IPW 緩和ケアコース・多職種協働事例検討研修	長野県看護大学
2025年1月30日	第8回 オンコロジーセミナー	信州大学
2025年2月10日	第3回 次世代北信がんプロ 国際セミナー	金沢大学
2025年2月12日	次世代北信がんプロ がん看護アドバンス研修	長野県看護大学
2025年2月26日	第6回 病態診断医学セミナー (次世代北信がんプロFD講演会)	金沢医科大学
2025年3月2日	第1回 次世代北信がんプロ金沢大学市民公開講座	金沢大学
2025年3月8日	第6回 IPW 緩和ケアコース・多職種協働事例検討研修	長野県看護大学
2025年3月13日	第9回 オンコロジーセミナー	富山大学

2. 各種セミナー開催実績 (2024年4月～2025年3月)

オンコロジーセミナー



第4回 Oncology Seminar

講演
食道癌に対する光線力学療法の一例
～北陸唯一の施設として～

開催日時
2024. 5.15 水
18:00-19:30

主催大学：金沢大学

会場：WEB配信 (オンラインのみ)

全体参加者：109名

特別講演
発がんにおけるhTERTのRdRP活性の意義

講師 林 智之 先生

特別講演
「最新の画像診断装置で
コミットするがん診療」

講師 増富健吉 先生

問い合わせ先
次世代がんプロ事務局
〒920-8640 石川県金沢市南1-1-1
TEL: 076 (265) 9886
E-mail: gpro@dm.kanazawa-u.ac.jp
HP: https://gpn-pro.net

2024年5月15日 (水) 18:00 開催
主催大学：金沢大学
会場：WEB配信 (オンラインのみ)
全体参加者：109名



第5回 Oncology Seminar

症例
【超陽的ゲノムプロファイリングで
NTRK遺伝子発現が陽性され、
NTRK阻害薬を投与した大腸がんの一例】

開催日時
2024. 7.24 水
18:00-19:30

主催大学：福井大学

会場：WEB配信 (オンラインのみ)

全体参加者：110名

特別講演
「最新の画像診断装置で
コミットするがん診療」

講師 増野靖夫 先生

特別講演
「最新の画像診断装置で
コミットするがん診療」

講師 辻川哲也 先生

問い合わせ先
次世代がんプロ事務局
〒920-8640 石川県金沢市南1-1-1
TEL: 076 (265) 9886
E-mail: gpro@dm.kanazawa-u.ac.jp
HP: https://gpn-pro.net

2024年7月24日 (水) 18:00 開催
主催大学：福井大学
会場：WEB配信 (オンラインのみ)
全体参加者：110名



第6回 Oncology Seminar

症例
「免疫チェックポイント阻害薬を含む
集学的治療にて長期生存が得られている
肝臓癌 腫瘍免疫療法後の再発」

開催日時
2024. 9.5 木
18:00-19:30

主催大学：金沢医科大学

会場：WEB配信 (オンラインのみ)

全体参加人数：87名

特別講演
「進化する乳癌診療
～外科手術から
集学的治療の時代へ～」

講師 安本 和生 先生

特別講演
「進化する乳癌診療
～外科手術から
集学的治療の時代へ～」

講師 井口 雅史 先生

問い合わせ先
次世代がんプロ事務局
〒920-8640 石川県金沢市南1-1-1
TEL: 076 (265) 9886
E-mail: gpro@dm.kanazawa-u.ac.jp
HP: https://gpn-pro.net

2024年9月5日 (木) 18:00 開催
主催大学：金沢医科大学
会場：WEB配信 (オンラインのみ)
全体参加人数：87名

次世代北信がんプロ がんプロ研修セミナー
第7回
 Next generation Hokuriku cancer professional
Oncology Seminar

講演
集学的治療を行った舌扁平上皮癌頸部再発の1例
 開催日時
 2024.12.5 木
 18:00-19:30
 (ZOOMによるオンライン開催)

特別講演
口腔がんの診断、治療の特徴
 【参加申込フォーム】

お問い合わせ先
 次世代北信がんプロ事務局
 〒920-8660 石川県金沢市南町1-1
 TEL: 076-2227-2898
 Email: gpn@hokuriku-cancer.jp
 HP: https://gpn.jp/

2024年12月5日(木) 18:00開催
 主催大学：金沢大学
 会場：WEB配信 (オンラインのみ)
 全体参加人数：88名

次世代北信がんプロ がんプロ研修セミナー
第8回
 Next generation Hokuriku cancer professional
Oncology Seminar

一般講演
「初回simertinib治療後のCGP検査に関する臨床的検討 (C-CATデータを用いた後方的観察研究)」
 開催日時
 2025.1.30 Thu
 18:00-19:30
 (ZOOMによるオンライン開催)

特別講演
「生まれつき白血病になりやすい？MDSのゲノム解析から分かること」
 【参加申込フォーム】

お問い合わせ先
 次世代北信がんプロ事務局
 〒920-8660 石川県金沢市南町1-1
 TEL: 076-2227-2898
 Email: gpn@hokuriku-cancer.jp
 HP: https://gpn.jp/

2025年1月30日(木) 18:00開催
 主催大学：信州大学
 会場：WEB配信 (オンラインのみ)
 全体参加人数：73名

次世代北信がんプロ がんプロ研修セミナー
第9回
 Next generation Hokuriku cancer professional
Oncology Seminar

講演 (18:00-18:30予定)
「乳癌術後内分泌療法に対する漢方支持療法」
 開催日時
 2025.3.13 Thu
 18:00-19:30
 ZOOMによるオンライン開催

特別講演 (18:30-19:30予定)
「がんサポートケアにおける漢方の意義」
 【参加申込フォーム】

お問い合わせ先
 次世代北信がんプロ事務局
 〒920-8660 石川県金沢市南町1-1
 TEL: 076-2227-2898
 Email: gpn@hokuriku-cancer.jp
 HP: https://gpn.jp/

2025年3月13日(木) 18:00開催
 主催大学：富山大学
 会場：WEB配信 (オンラインのみ)
 全体参加人数：36名

多職種協働事例検討会

第1回 2024年5月11日(土) 13:00 開催

主催大学：長野県看護大学

会場：WEB 配信(オンラインのみ)

全体参加人数：51名

第2回 2024年7月13日(土) 13:00 開催

主催大学：長野県看護大学

会場：WEB 配信(オンラインのみ)

全体参加人数：60名

第3回 2024年9月21日(土) 13:00 開催

主催大学：長野県看護大学

会場：WEB 配信(オンラインのみ)

全体参加人数：48名

次世代北信がんプロ
IPW緩和ケアコース
多職種協働事例検討研修
北信がんプロ科目-単位申請対象セミナー

日時 2024.11.9 ± 13:00-16:00
5.11(水)/7.13(木)/9.14(金)/1.11(土)/3.8(日) (全6回)

申込 長野県がんセンターが主催するがんIPW。または北信がんプロ
が主催するがん緩和ケアコース。申込フォームの申請欄に、研修費
受領書と単位申請書(単位申請書)を添付し、ご提出ください。

第4回 11.9(土) AYA患者の治療経過-「輪理」ドラマ

事例 Aさん(仮称)の病名は「後継肺腺癌(肺癌)」で、19歳で
専業主婦として働き始めていますが、がん発症後に専業主婦
から、専業主婦へのトランジションが難しく「治療はしたくない」と
断る続け、精神状態が不安定になっている。医師は必
死に治療するが...

講師(講師) 聖隷聖医院 小児科部長 中野美由紀先生

第5回 5.11(水) ケアコーディネーター 第6回 7.13(木) 緩和ケア
事例 がんの緩和ケアが実現
できない場合、どのような
対応が求められる?

事例 緩和ケアチームへの参加
が難しい場合、どのような
対応が求められる?

第7回 9.14(金) ココナット 第8回 1.11(土) 緩和ケア
事例 がんの緩和ケアが実現
できない場合、どのような
対応が求められる?

事例 がんの緩和ケアが実現
できない場合、どのような
対応が求められる?

北信がんプロ
長野県看護大学 事務局 長野県がんセンター 事務局
〒241-0292 長野県長野市南大宮1-1-1
http://www.nagano-nursing.ac.jp/

第4回 2024年11月9日(土) 13:00開催
主催大学：長野県看護大学
会場：WEB配信(オンラインのみ)
全体参加人数：48名

次世代北信がんプロ
IPW緩和ケアコース
多職種協働事例検討研修
北信がんプロ科目-単位申請対象セミナー

日時 2025.1.11 ± 13:00-16:00
5.11(水)/7.13(木)/9.14(金)/11.9(土)/3.8(日) (全6回)

申込 長野県がんセンターが主催するがんIPW。または北信がんプロ
が主催するがん緩和ケアコース。申込フォームの申請欄に、研修費
受領書と単位申請書(単位申請書)を添付し、ご提出ください。

第5回 1.11(土) 「将来病態予測法」とSDM(協働意思決定)

事例 Aさん(仮称)は40代前半の乳がんが転移する。多発性転移と病
状悪化が進行し、緩和ケアチームへの参加が難しく、治療を断
るが、家族がいろいろな治療や手術を希望する(休日も)治療にあり、また、
緩和ケアチームへの参加が難しく、治療を断る。どのような
対応が求められるか?

講師(講師) 北信がんプロ 緩和ケアセンター長

第6回 5.11(水) ケアコーディネーター 第7回 7.13(木) 緩和ケア
事例 がんの緩和ケアが実現
できない場合、どのような
対応が求められる?

事例 緩和ケアチームへの参加
が難しい場合、どのような
対応が求められる?

第8回 9.14(金) ココナット 第9回 11.9(土) 緩和ケア
事例 がんの緩和ケアが実現
できない場合、どのような
対応が求められる?

事例 がんの緩和ケアが実現
できない場合、どのような
対応が求められる?

北信がんプロ
長野県看護大学 事務局 長野県がんセンター 事務局
〒241-0292 長野県長野市南大宮1-1-1
http://www.nagano-nursing.ac.jp/

第5回 2025年1月11日(土) 13:00開催
主催大学：長野県看護大学
会場：WEB配信(オンラインのみ)
全体参加人数：36名

次世代北信がんプロ
IPW緩和ケアコース
多職種協働事例検討研修
北信がんプロ科目-単位申請対象セミナー

日時 2025.3.8 ± 13:00-16:00
5.11(水)/7.13(木)/9.14(金)/11.9(土)/1.11(日) (全6回)

申込 長野県がんセンターが主催するがんIPW。または北信がんプロ
が主催するがん緩和ケアコース。申込フォームの申請欄に、研修費
受領書と単位申請書(単位申請書)を添付し、ご提出ください。

第8回 3.8(日) 一人親家庭-親を失った子どもに伝えたい

事例 Aさんは40代の男性で、がんの療養期間中、妻とは死別、小学
の子どもが3人いる。専業主婦だが、ある日「病院が置いてこ
うは、私がいないと子どもたちが生きていけない」といって、
断る。どうすればいいか?

講師(講師) 聖隷聖院 がん専門看護師

第9回 5.11(水) ケアコーディネーター 第10回 7.13(木) 緩和ケア
事例 がんの緩和ケアが実現
できない場合、どのような
対応が求められる?

事例 緩和ケアチームへの参加
が難しい場合、どのような
対応が求められる?

第11回 9.14(金) ココナット 第12回 11.9(土) 緩和ケア
事例 がんの緩和ケアが実現
できない場合、どのような
対応が求められる?

事例 がんの緩和ケアが実現
できない場合、どのような
対応が求められる?

北信がんプロ
長野県看護大学 事務局 長野県がんセンター 事務局
〒241-0292 長野県長野市南大宮1-1-1
http://www.nagano-nursing.ac.jp/

第6回 2025年3月8日(土) 13:00開催
主催大学：長野県看護大学
会場：WEB配信(オンラインのみ)
全体参加人数：20名

市民・県民公開講座

参加料 無料

次世代北信がんプロ金沢医科大学市民公開講座
がんを知り、がん備える。
 ～がんの治療最前線～

プログラム

1. 啓発のご挨拶 開会
 司会 安本 和生 金沢医科大学腫瘍内科学 教授、次世代北信がんプロ金沢医科大学 コーディネーター
2. 講演 講演
 「進歩する大腸がん治療」
 講師 藤田 秀人 先生 金沢医科大学 第一消化器科 准教授
 「子宮がんの最新治療と今後の可能性」
 講師 栗田 健雄 先生 金沢医科大学 産婦人科 准教授
3. 特別講演
 「多様化するがん薬物療法の前線
 ～がんご上手につきあうために～」
 講師 勝俣 龍之 先生 日本医科大学 がん治療学 准教授

2024年10月19日
 14:00-16:30 (開場 13:30)

会場 ホテル金沢 4階 エメラルドルーム
 〒920-0293 石川県金沢市南町1丁目1番地
 (近 車道駅 徒歩約1分)

【オンライン配信】
 YouTube ライブ配信

お申し込み方法
 ①QRコード ②申し込みフォームによるお申し込み
 ③FAX: (076)286-6054 にご送付をお願いいたします

お問い合わせ 金沢医科大学 学事部 大学院課 〒920-0293 石川県金沢市南町1丁目1番地
 E-mail d-gakun@kanazawa-med.ac.jp TEL 076-286-8314 FAX 076-296-0054

市民公開講座「がんを知り、がん備える。」～がんの治療最前線～

2024年10月19日(土) 14:00 開催
 (YouTube ライブ配信)

主催大学：金沢医科大学

会場：ホテル金沢 4階
 エメラルドルーム

第2回次世代北信がんプロ合同市民公開講座
 令和6年度福井大学県民公開講座 **がん診療最前線**
北信地区でつなぐがん医療

令和6年11月4日(月/祝) 13:30-16:00
 13:00受付開始

コートヤード・バイ・マリオット福井
 4階 芙蓉
 〒910-0006 福井県福井市中央1丁目3-5

参加方法
 【会場参加】または【オンライン参加】のどちらかお選びいただけます。

会場参加 (定員100名) 当日は会場へ直接お集まりください。
 オンライン参加 (視聴数制限なし)

お申し込み方法

①QRコードから お申し込み ②申し込みフォームにアクセスして、必要事項をご記入の上送信してください。
 ③お申し込み方法(会場orオンライン)、「お名前(フリガナ)」、参加人数、「メールアドレス」(要領)を明記し、件名「合同市民公開講座」を明記の上、下記メールアドレスまで送信してください。
 gpro-fukui@mlu-fukui.ac.jp 受付時間: 受付時間: 9時～17時

申し込み締切 **10月28日(月)**

会場ご案内

コートヤード・バイ・マリオット福井 4階 芙蓉
 〒910-0006 福井県福井市中央1丁目3-5

●バス利用 福井駅前バス停徒歩2分
 ●徒歩利用 徒歩約15分
 ●車利用 駐車場あり(要予約) 敷地内には、お申し込みいただいた方、ご来賓様専用駐車場をご用意しております。
 ●お申し込み方法
 ①QRコードから申し込み ②申し込みフォームにアクセスして、必要事項をご記入の上送信してください。
 ③お申し込み方法(会場orオンライン)、「お名前(フリガナ)」、参加人数、「メールアドレス」(要領)を明記し、件名「合同市民公開講座」を明記の上、下記メールアドレスまで送信してください。

お問い合わせ 福井大学医学部腫瘍病態治療学分野
 〒910-1193 福井県福井市中央町1丁目22-3 TEL 0776-61-8857

福井大学

第2回次世代北信がんプロ合同市民公開講座

令和6年度福井大学県民公開講座

「がん診療最前線」北陸地区でつなぐがん医療

2024年11月4日(月/祝) 13:30 開催
 (ハイブリッド開催)

主催大学：福井大学

会場：コートヤード・バイ・マリオット福井

次世代
がんプロ

第1回次世代北信がんプロ
金沢大学市民公開講座
第26回石川県がん診療連携協議会
市民公開講座

2025.3.2 13:00~15:45 SUN 定員 80名 参加 無料

Webライブ配信 (Zoom) とのハイブリッド開催
ANAクラウンプラザホテル金沢 / WEB

13:00 開会挨拶 金沢大学学長補佐 西岡 哲一先生

13:10 1 こゝまで進んだ 最新のがん治療1 がん 金沢大学 腫瘍内科 松本 龍先生
呼吸器科 藤田 徹先生
「肺癌外科治療の進歩」
金沢大学 腫瘍内科 松本 龍先生
呼吸器科 藤田 徹先生
「乳がんは早く見つければ治る」が正しくはなかに一人に集えよう
金沢大学 腫瘍内科 藤田 徹先生
呼吸器科 藤田 徹先生
金沢大学がん研究センター 井口 雅史先生

13:50 2 こゝまで進んだ 最新のがん治療2 がん 金沢大学がん研究センター 藤田 徹先生
呼吸器科 藤田 徹先生
「リンパ腫における CAR-T 療法」
金沢大学腫瘍内科 藤田 徹先生
「肝臓と胆道、膵臓のがんの最新の話」
国立がん研究センター 山下 雅也先生

14:40 3 これからの がん治療について がん 金沢大学 腫瘍内科 藤田 徹先生
呼吸器科 藤田 徹先生
「がんと付き合っていくということ」
石川県がん診療連携協議会 木村 美代氏
「がんの新しい治療」
金沢大学 がん研究センター 谷口 博昭先生

15:20 Q&A 金沢大学 腫瘍内科 藤田 徹先生
呼吸器科 藤田 徹先生
15:35 閉会挨拶 金沢大学学長補佐 西岡 哲一先生

① 二次元コード (オンライン申し込み) 右の二次元コードよりお申し込みください。
② FAXでのお申し込み 裏面の申し込み用紙にご記入の上お送りください。
③ 実際の参加は自己責任でお願いします。
④ 会場参加にはオンライン配信、どちらもお申し込みが必要です。
⑤ オンライン参加の場合は、申込完了後 Zoom アドレスをお知らせします。

後援 石川県、石川県医師会

TEL 076-266-2095
TEL 076-266-2098

『次世代の懸け橋となる最新がん治療』

第1回次世代北信がんプロ金沢大学市民公開講座

第26回石川県がん診療連携協議会市民公開講座

2025年3月2日(日)13:00開催(ハイブリッド開催)

主催大学: 金沢大学

共催: 次世代北信がんプロ 石川県がん診療連携協議会

金沢大学がん進展制御研究所 北國新聞社

会場: ANAクラウンプラザホテル金沢 / WEB

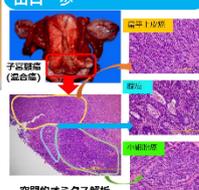
全体参加人数: 143名

F D 講演会

**第44回 腫瘍病理セミナー
(次世代北信がんプロFD講演会)**
**HPV専門の婦人科腫瘍医の立場からみる、
HPV感染症の特徴と最新の知見について**



大阪大学免疫学フロンティア研究センター Wing lab 特任研究員 田口 歩



子宮頸癌 (統合型) 扁平上皮癌 腺癌

空間的オミクス解析

2008年 慶応義塾大学医学部 卒業
 2015年 東京大学医学部 卒業
 2016年 がん医療センター がん細胞学 助産
 2019年 慶応義塾大学医学部 がん細胞学 助産
 2022年 慶応義塾大学医学部 がん細胞学 助産

お問合せ 金沢医大 大学病院 d-gakuin@kanazawa-med.ac.jp

HPV関連癌はワクチンにより予防可能な癌である。しかし、日本をはじめとしてHPVワクチンの普及率は未だ十分とはいえない。ワクチンの普及は集約の遅延であるが、HPVは代表的な癌原ウイルスであり、そのウイルス・宿主相互作用の解明は、ウイルス感染や悪性腫瘍の理解に資することが期待される。HPVは子宮頸部の基底層の細胞に感染し、年月をかけて子宮頸管へと進展する。HPV感染は生涯年齢の女性の5-8割に感染するにも関わらず多くは自然消滅し、ごく一部の患者さんにおいて子宮頸癌へと進展する。子宮頸癌への進展を決定する因子としてHPV型の陽性と宿主側の因子のバランスが重要である。また、HPV関連子宮頸癌の主要な組織として扁平上皮癌と腺癌が知られるが、HPV感染が細胞分化に与える影響はわかっていない。我々は子宮頸癌組織の空間的オミクス解析やオルガノイド培養、iPS細胞などを活用し、HPV感染が細胞分化に与える影響を調べた。本セミナーでは、HPV関連子宮頸癌の管理の課題と、最新の研究により明らかになってきたウイルス・宿主相互作用の知見について紹介する。

1. Toyohara Y, Taguchi A, et al. Identification of target cells of human papillomavirus 18 using squamocolumnar junction organoids. *Cancer Sci.* 2024, 115(1):125-138.
2. Kusakabe M, Taguchi A, et al. Cells with stem-like properties are associated with the development of HPV18-positive cervical cancer. *Cancer Sci.* 2023, 114(3):885-895.

2024年9月2日(月) 17時半~19時
 金沢医科大学
 医学教育棟 4階 E41講義室 またはWEB

第 44 回腫瘍病理セミナー 「HPV 専門の婦人科腫瘍医の立場 からみる、HPV 感染症の特徴と 最新の知見について

2024年9月2日(月) 17:30 開催

(ハイブリッド開催)

主催大学：金沢医科大学

会場：医学教育棟 4階 E41

講義室

全体参加人数：55名

**第7回先進呼吸器外科学セミナー
次世代北信がんプロFD講演会** 2024年11月7日(木) 16:00~
 金沢医科大学病院中央棟3階 中会議室3

胸部悪性腫瘍に対する凍結融解壊死療法



朝倉啓介先生
 慶應義塾大学医学部外科学(呼吸器) 教授
 慶應義塾大学病院 病院長補佐

2002年 慶應義塾大学医学部 卒業、慶応義塾大学医学部
 2011年 国際呼吸器腫瘍学研究会 呼吸器科 専攻
 2012年 呼吸器科 呼吸器科 専攻
 2015年 慶應義塾大学医学部 呼吸器科 専攻
 2016年 国際呼吸器腫瘍学研究会 呼吸器科 専攻
 2018年 慶應義塾大学医学部 呼吸器科 専攻
 2021年 慶應義塾大学医学部 呼吸器科 専攻
 2022年 慶應義塾大学医学部 呼吸器科 専攻
 2023年 慶應義塾大学医学部 呼吸器科 専攻

悪性腫瘍の3大治療は、手術、放射線、薬物療法であるが、近年、第4の治療法としてアブレーション治療が進展してきている。肺腫瘍に対するアブレーション治療として最も広く用いられているのはラジオ波凝固療法であるが、当科では2002年から誘電体凍結融解療法を行っている。原発性肺癌、転移性肺腫瘍を中心とする胸部悪性腫瘍に対する凍結融解療法のエビデンスと今後の展望について解説する。

認定資格
 日本呼吸器学会 呼吸器科 専門医、日本呼吸器学会 呼吸器科 専門医
 呼吸器科 呼吸器科 専門医、呼吸器科、日本がん治療学会 呼吸器科 専門医
 日本呼吸器学会 呼吸器科 専門医、日本がん治療学会 呼吸器科 専門医
 日本呼吸器学会 呼吸器科 専門医、日本がん治療学会 呼吸器科 専門医

担当 浦本 秀隆 金沢医科大学 呼吸器外科学 教授 共催 次世代北信がんプロ
 問合せ 金沢医科大学 呼吸器外科学 教授 d-gakuin@kanazawa-med.ac.jp

第 7 回先進呼吸器外科学セミナー

「胸部悪性腫瘍に対する凍結融解壊死療法」

2024年11月7日(木) 16:00 開催

(ハイブリッド開催)

主催大学：金沢医科大学

会場：金沢医科大学病院中央棟

3階中会議室3

全体参加人数：23名

KYU 第5回病態診断医学セミナー・次世代北信がんプロFD講演会

B細胞リンパ腫の分子病態と標的治療への応用

2024年11月28日(木) 17:00~
金沢医科大学医学教育棟3階 病理診断室
※オンライン併用開催
参加申込QRコード

高田 尚良 先生
TAKATA Katsuyoshi
富山大学 学術研究部医学系
病態・病理学 教授

B細胞リンパ腫は全リンパ腫の約8割を占める最も頻度の高いリンパ腫亜型であり、細胞起源、生物学的態度、予後に基づいた細分類がなされている。病理診断に際しては形態、免疫組織化学による表現型の確定、さらに分子標的薬の適応の観点からそれぞれの亜型に特徴的な遺伝子異常を検出することが必要とされている。本講演ではWHO分類5版に基づいたB細胞リンパ腫分類の特徴と、遺伝子異常、および遺伝子異常に基づいた標的治療への応用について述べる。

※次世代北信がんプロ科目単位申請対象のセミナーです。

担当 金沢医科大学臨床病理学 山田 杜亮 教授 問合せ 金沢医科大学 学事部大学院課
d-gakuin@kanazawa-med.ac.jp

第5回「病態診断医学セミナー・次世代北信がんプロFD講演会」

「B細胞リンパ腫の分子病態と標的治療への応用」

2024年11月28日(木) 17:00

(ハイブリッド開催)

主催大学：金沢医科大学

会場：金沢医科大学医学教育棟3階
病理診断室

第46回 腫瘍病理セミナー・次世代北信がんプロFD講演会
金沢女性研究者フォーラム

東京科学大学 リサーチ
インフラマネジメント機構
副学長 中山啓子

がん化における
スプライシングの変化

2024年12月4日(水) 16時~
金沢医科大学 医学教育棟4階
E41講義室
Zoomでの参加はQRコード
その他、お問合せ
d-gakuin@kanazawa-med.ac.jp

次世代北信がんプロ科目単位申請対象のセミナー

第46回「腫瘍病理セミナー・次世代北信がんプロFD講演会」

金沢女性研究者フォーラム

2024年12月4日(水) 16:00

(ハイブリッド開催)

主催大学：金沢医科大学

会場：金沢医科大学医学教育棟4階
E41 講義室

KMU 第6回病態診断医学セミナー・次世代北信がんプロFD講演会

血管研究のヒト疾患解析への応用

2025年2月26日(水) 17:30~
金沢医科大学医学教育棟3階 病理診断室
※オンライン併用開催
参加申込QRコード

内藤 尚道 先生
NAITO Hisamichi
金沢大学医薬基礎研究域 医学系
血管分子生理学 教授

血管新生は、癌や虚血性疾患をはじめ様々な疾患の病態形成に関与することが知られている。血管新生では血管内皮細胞の活性化と増殖が重要であり、その分子機序の解明が進んでいる。本セミナーでは血管内皮細胞の増殖能力に着目した血管新生の機序に関して紹介する。また血管内皮細胞の細胞解析により明らかになった大動脈疾患の病態に関しても紹介する。

※次世代北信がんプロ科目単位申請対象のセミナーです。

担当 金沢医科大学臨床病理学 山田 杜亮 教授 問合せ 金沢医科大学 学事部大学院課
kmug-pro@kanazawa-med.ac.jp

第6回「病態診断医学セミナー・次世代北信がんプロFD講演会」

血管研究のヒト疾患解析への応用

2025年2月26日(水) 17:30

(ハイブリッド開催)

主催大学：金沢医科大学

会場：金沢医科大学医学教育棟3階
病理診断室

各種セミナー

次世代北信がんプロ
看護セミナー

テーマ
**がん看護領域における
遺伝看護**

講師：聖路加国際病院
遺伝看護専門看護師 大川 恵 先生
▶▶▶ Zoomを使用し所屬先からご講演いただきます

令和6年
11月19日(火)
18:00～19:30

参加無料
事前申込が必要です

参加方法
* オンライン参加 (Zoom)
* 会場参加

申し込み専用フォーム
11月17日(日)
後日専用URLを
発行します

会場：福井大学医学部 (松岡キャンパス)
看護学科棟2階 看護大講義室

対象：看護職、医療・福祉関係者、一般市民

座長：福井大学医学部看護学科
臨床看護学分野 教授 磯見 智恵 先生

会場：福井大学医学部 (松岡キャンパス)
看護学科棟2階 看護大講義室

対象：看護職、医療・福祉関係者、一般市民

次世代北信がんプロ
「看護セミナー」

がん看護領域における遺伝看護

2024年11月19日(火) 18:00
(ハイブリッド開催)

主催大学：福井大学

会場：福井大学医学部 (松岡キャンパス) 看護学科棟2階看護大講義室

全体参加人数：160名

次世代北信がんプロ 長野県看護大・がんプロ公開研修

2025年
2/12
wed

『カンファレンスを
“仕切る”
達人への道』

～現場にある困難な事象を
チームカンファレンスで解く～

時間 **10:00～16:00** 全3回

会場 信州大学附属病院 会議室

対象 看護師(事前申込制) 参加無料

第1セッション 10:00～12:00
第2セッション 13:00～14:30
第3セッション 14:30～16:00

第1セッション (10:00～12:00)	第2セッション (13:00～14:30)	第3セッション (14:30～16:00)
講義/討論 カンファレンスは なぜうまくいかない? 原因/要因/勝因	演習:「困難な 臨床場面の検討」 がん臨床の困難場面を切り上げ、 解決志向の分析シートを用いて 事象を可視化する	講義/討論 ファシリテーション (司会)のコツ: 仕切りの技とステップ

申込 長野北信がんプロホームページの「受講者の方へ」から、または右のQRコードからお申し込みください。希望コース「がんアドバンス研修」を選択してください。締切日:2/3(月)

がん看護アドバンス研修

主催 長野県看護大学大学院 北信がんプロ
事務局 長野県看護大学大学院 がん看護学専攻 事務局
お問い合わせ: gnc@nrc.nagano-nurse.ac.jp
https://www.nagano-ganpro.jp/index.html
長野北信がんプロ 詳しいはホームページをご覧ください

次世代北信がんプロ

『カンファレンスを“仕切る”達人への道』
～現場にある困難な事象をチームカンファレンスで解く～

2025年2月12日(水) 10:00～16:00
全3回

主催大学：長野県看護大・がんプロ公開研修会
会場：信州大学附属病院会議室

全体参加人数：75名

国際セミナー



次世代
okushin
がんプロ
Next generation Hokushin cancer professional

次世代北信がんプロ 国際セミナー
第3回
International Seminar

大学院生・がん診療連携拠点病院
地域がん診療推進病院等の
医師・薬剤師・看護師・診療放射線技師
臨床検査技師など医療スタッフの皆さま

A Role of the Pathologist in Personalized Medicine for Lung Cancer Patients

開催日時
2025. **2.10** 月 17:00-18:30 (ハイブリッド開催)

参加方法
金沢大学附属病院CPDセンター(対面)又はZOOM

講演内容
In the US, lung cancer is the leading cause of cancer death for both men and women, but the mortality from lung cancer has decreased. It is attributed to successful disease prevention, improved early detection secondary to implementation of low-dose CT scan screening, and improved management including neoadjuvant and adjuvant therapy for early-stage tumors, improved management including neoadjuvant and adjuvant therapy for early-stage tumors, molecular targeted therapy and immunotherapy mostly for non-small cell lung cancer (NSCLC). The similar trend has been seen in Japan as well. Notably, pathologists significantly contribute to the management of lung cancer patients by providing accurate diagnosis, subtyping, biomarker assessment including PD-L1 immunohistochemistry and molecular testing for targetable oncogenic driver alterations as well as the evaluation of post neoadjuvant resections for residual viable tumor. In this talk, I will describe these items in detail.

【参加申込フォーム】
参加希望者は2月6日(木)までに
下記のQRコードから申込ください。



Vice Chair for Anatomic Pathology
Director, Pulmonary Pathology
Massachusetts General Hospital
Professor of Pathology,
Harvard Medical School



Mari Mino-Kenudson
先生

問い合わせ先
次世代北信がんプロ事務局
〒920-8640 石川県金沢市宝町13-1
TEL: 076 (265) 2888
E-mail: gpro@adm.kanazawa-u.ac.jp

本セミナーは英語で行われます。
ご質問は日本語も可能です。あらかじめご了承ください。

次世代北信がんプロ科目単位申請対象のセミナーです

第3回 次世代北信がんプロ 国際セミナー
2025年2月10日(月) 17:00 開催
(ハイブリット開催)

主催大学：金沢大学

会場：金沢大学附属病院 CPDセンター

参加人数：38名

大学院生交流セミナー

2024
次世代北信がんプロ
大学院生交流セミナー
Next generation Hokushin cancer professional
ランチョンセミナー
2024年
09月01日 (Sun.) 12:10 - 12:55
会場: TKP金沢新幹線口会議室 4B

Special Lecture

Chair 矢野 聖二 先生
(金沢大学医薬保健研究域医学系 呼吸器内科学 教授)

Speaker 安藤 雄一 先生
(名古屋大学医学部附属病院 化学療法部 教授)

『がん遺伝子パネル検査とがんプロの取り組み』

共催: 次世代北信がんプロ/中外製薬株式会社

次世代北信がんプロ
大学院生交流セミナー

2024年9月1日(日) 11:00
(ハイブリット開催)

主催大学: 金沢大学

会場: TKP 金沢新幹線口
4B 会議室

共催: 次世代北信がんプロ/
中外製薬株式会社

全体参加者数: 21名

【優秀発表賞の選出】

各セッションの座長による優秀発表賞を選出し、賞状を贈呈いたしました。

*セッション1 村瀬 裕哉

*セッション2 橋本 明史

*セッション3 小東 純也

*セッション4 若林 円花



【会場の様子】



【内容】 I 開会挨拶 11:00-11:05 富山大学 林 龍二 先生

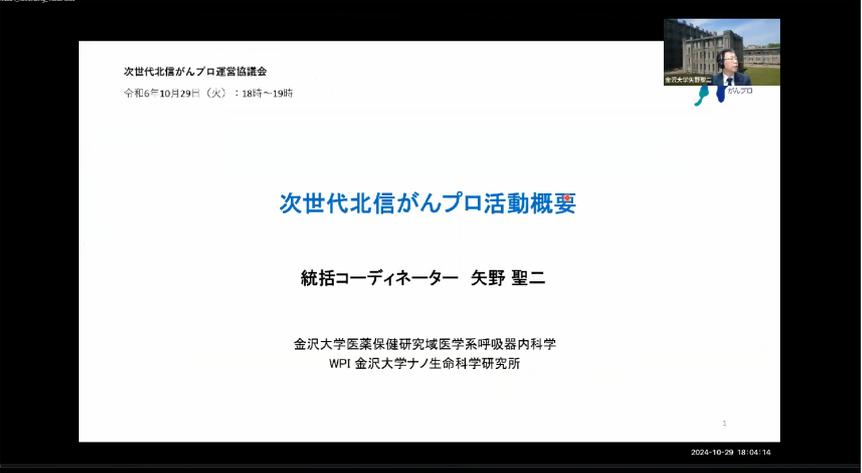
II 発表者及び演題等

セッション1 座長 福井大学 廣野 靖夫 先生			
	発表開始	発表者	演題
	予定時間	所蔵大学名	
1	11時10分 ~	村瀬 裕哉	抗体薬物複合体の耐性機構解明と克服治療開発の試み
	11時26分	金沢大学	
2	11時28分 ~	古井 優	脳腫瘍に対する新規CAR-T細胞療法の開発
	11時44分	信州大学	
3	11時47分 ~	大沼 逸美	p38によって制御される新規Src-TAB1シグナル経路
	12時03分	富山大学	
休憩			
★ランチョンセミナー 座長 金沢大学 矢野 聖二 先生			
	発表開始	講師	演題
	予定時間		
	12時10分 ~	名古屋大学医学部附属病院 化学療法部 教授 安藤 雄一 先生	がん遺伝子パネル検査とがんプロの取り組み
	12時55分		
休憩			
セッション2 座長 富山大学 新田 淳美 先生			
4	13時10分 ~	橋本 明史	癌微小環境が胃癌スフェロイド形成能に及ぼす影響に関する研究
	13時26分	金沢医科大学	
5	13時29分 ~	中村 公亮	深層学習を用いたOBI(On Board Imager)による直腸ガスの判定に最適なモデルの検討
	13時45分	金沢大学	
6	13時47分 ~	千葉 智義	肝細胞癌に対する薬物療法1次治療後の免疫微小環境の変化に応じた2次治療の開発
	14時03分	金沢大学	
休憩			
セッション3 座長 金沢医科大学 高村 博之 先生			
7	14時15分 ~	松中 喬之	18F-FDG PET/MR-defined EMVIは直腸癌において遠隔転移に関与し、腫瘍の浸潤性を反映する
	14時31分	福井大学	
8	14時33分 ~	小東 純也	4次元CT画像の肝臓自動輪郭セグメンテーションの評価と変形モデルの作成
	14時49分	金沢大学	
9	14時51分 ~	川瀬 翔太郎	レポーター配列を含む組換えB型肝炎ウイルスを安定発現する新たなヒト肝細胞株の樹立
	15時07分	金沢大学	
休憩			
セッション4 座長 信州大学 コーディネーター 中沢 洋三 先生			
10	15時20分 ~	山口 叶大	免疫チェックポイント阻害剤により誘導される抗腫瘍免疫応答に対する十全大補湯の効果
	15時36分	富山大学	
11	15時38分 ~	三ノ宮 優太	薬剤性類洞閉塞性障害肝やスフィンゴミエリン合成酵素阻害による大腸癌転移に関する実験的研究
	15時54分	金沢医科大学	
12	15時40分 ~	志村 裕介	大学院・北信がんプロでの学びと薬剤部での研究活動について
	15時56分	金沢大学	
13	15時58分 ~	若林 円花	がんによるアピアランスの変化に伴う心理社会的影響: スコーピングレビュー
	16時13分	金沢大学	

III 閉会挨拶 16:15-16:20 金沢大学 武村 哲浩 先生

3. 学長連絡協議会・運営協議会の開催について

学長連絡協議会、運営協議会をオンラインにて開催いたしました。

委員会名	開催概要
<p>学長連絡協議会</p>	<p>【日時】 2024年11月25日(月) 15:00-16:00 【開催方法】 オンライン開催 (ZOOM) 【参加者】 13名 【次第】 1. 開会挨拶 2. 連携校挨拶 3. 事業説明 【オンライン会議の様子】</p> 
<p>運営協議会</p>	<p>【日時】 2024年7月22日(月) 9:00-9:35 【開催方法】 オンライン開催 (ZOOM) 【参加者】 23名 【次第】 1. 次世代北信がんプロ 全体概要 2. 次世代北信がんプロ 教育コース内容について 3. 北信がんプロインテンシブコースの説明について 【オンライン会議の様子】</p> 

4. 各種委員会の開催について

事業体制で示された各種委員会について、下記の通り開催いたしました。

委員会名	開催概要
第1回 ステアリングコミッティ	【日時】 2024年4月22日(月) 13:00-14:00 【開催方法】 オンライン開催 (ZOOM) 【参加者】 19名 【次第】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和6年度予算について 2. e-learningについて 3. セミナーについて 4. がんデータベースについて 5. 大学院生交流セミナーについて 6. 市民公開講座について 7. 学長連絡協議会について 8. 運営協議会について 9. 外部評価委員会について
第2回 ステアリングコミッティ	【日時】 2024年7月22日(月) 9:00-9:35 【開催方法】 オンライン開催 (ZOOM) 【参加者】 23名 【次第】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学院生交流セミナーについて 2. 予算執行について 3. 受講生の取扱いについて 4. 報告事項について <ol style="list-style-type: none"> ① 合同市民公開講座について ② 全国がんプロ協議会の部会委員選出について ③ 文科省提出の交付申請書について
第3回 教務委員会	【日時】 2024年7月31日(水) 16:00-16:40 【開催方法】 オンライン開催 (ZOOM) 【参加者】 10名 【次第】 <ol style="list-style-type: none"> 1. e-learningの進捗状況について 2. その他
第4回 教務委員会	【日時】 2025年1月16日(木) 16:00-16:40 【開催方法】 オンライン開催 (ZOOM) 【参加者】 14名 【次第】 <ol style="list-style-type: none"> 1. e-learningの進捗状況について 2. その他
第3回 ステアリングコミッティ	【日時】 2025年3月25日(火) 16:00-16:40 【開催方法】 オンライン開催 (ZOOM) 【参加者】 6名 【次第】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和7年度予算について 2. 令和7年度事業内容について

5. 筑波大学全国オンライン教育のプラットフォーム

e-learning 教材 (本年度完成)

がんプロオンライン教育プラットフォームは、文部科学省が質の高いがん医療専門家を養成するために設けられたプログラム「多様な新ニーズに対応する『がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）』養成プラン」（通称「がんプロ」）により提供されるものです。

がんプロオンライン教育プラットフォームは、文部科学省が質の高いがん医療専門家を養成するために設けられたプログラム「多様な新ニーズに対応する『がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）』養成プラン」（通称「がんプロ」）により提供されるものです。

ログイン中
北信 がんプロ
gpro@adm.kanazawa-u.ac.jp
マイページ
ログアウト

がんプロ全国e-learningクラウドについて



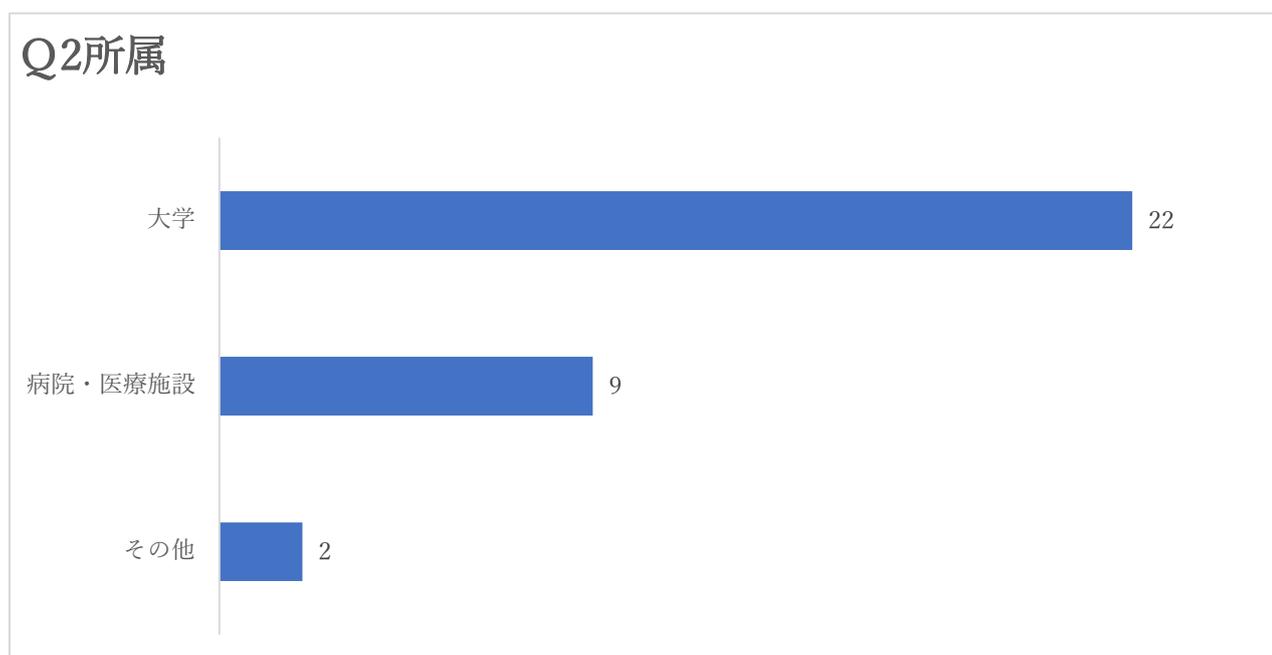
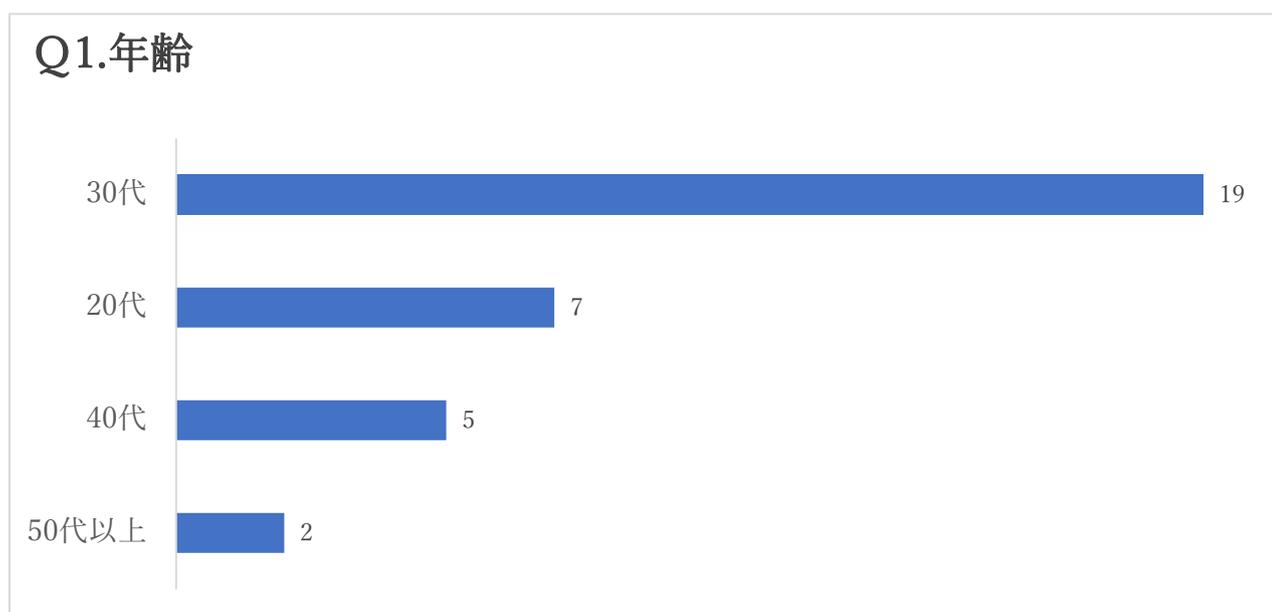
がんプロオンライン教育プラットフォームは、講義を自由自在に組み立てて豊かなコースをカスタマイズできるe-learningを中心として教育コンテンツを提供するプラットフォームです。

eラーニングはこの一環として提供されるもので、大学の教育を活性化し、今後のがん医療を担う医療人の養成推進を図ることを目的としたものです。

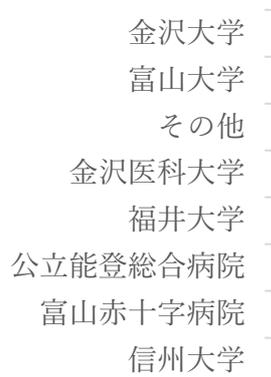
そのため、大変申し訳ございませんが一般の方（がんプロ講義受講をされていない方）につきましては、閲覧していただくことができません。

7. アンケート結果

オンコロジーセミナー(調査期間 2024年5月16日~2024年5月30日)



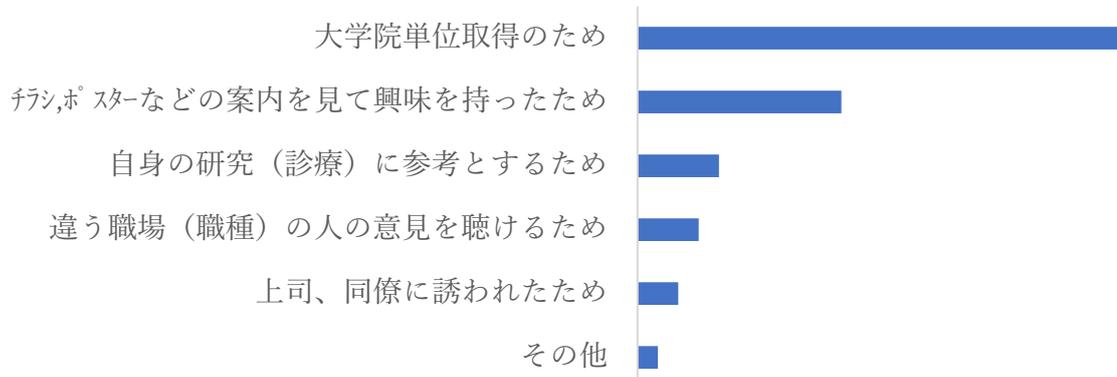
Q3.大学名

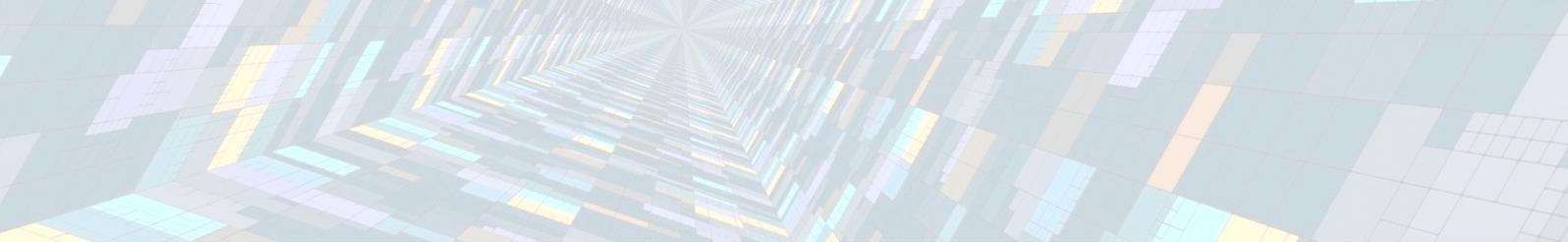


Q4.参加回数



Q5.参加動機

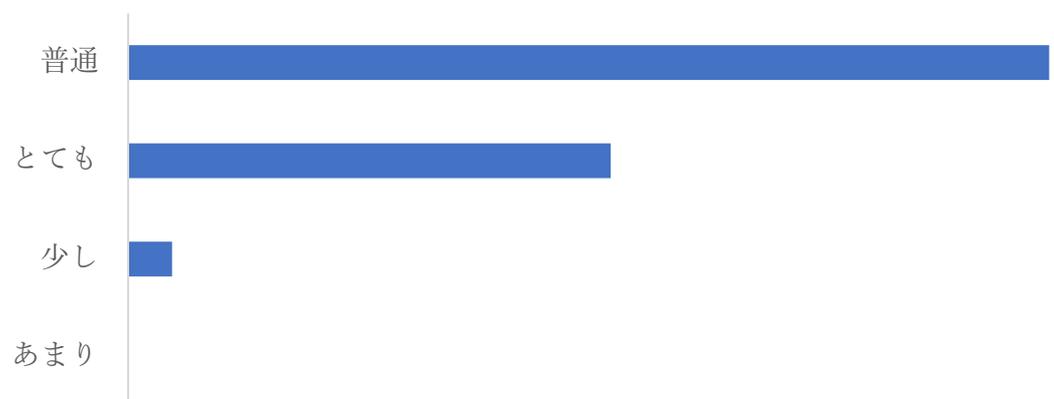


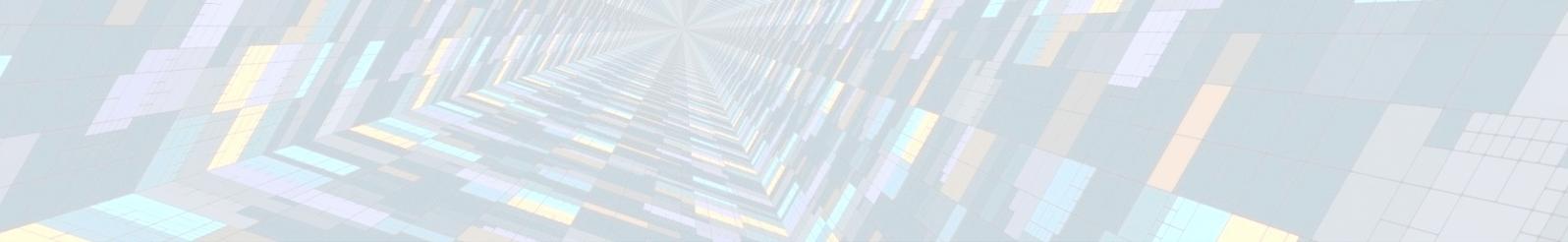


Q.6所要時間



Q.7内容の適切さ

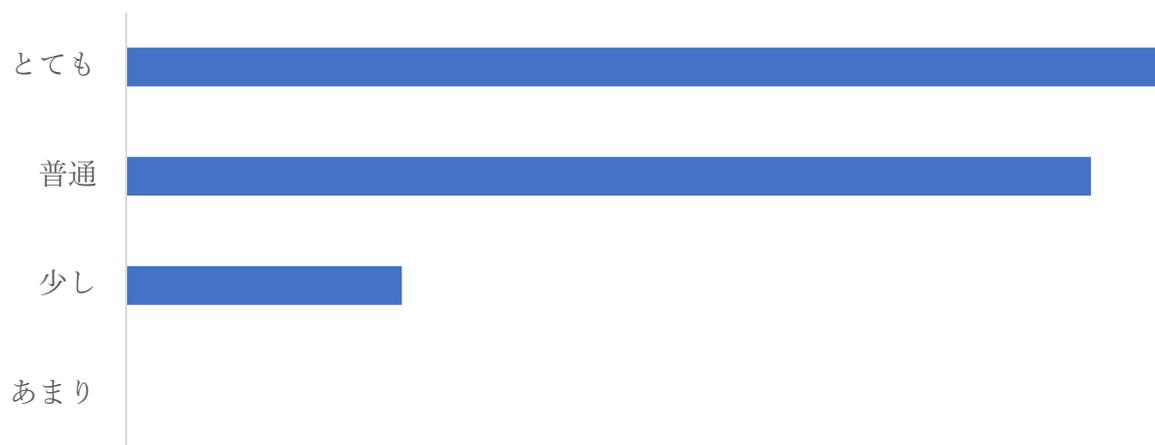




Q8.今後の活動に役立つ内容か



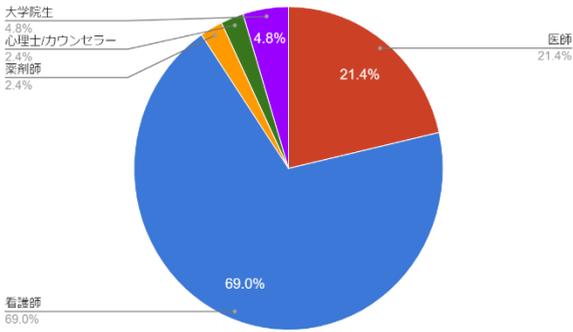
Q9.今後の参加の意思



多職種協働事例検討研修

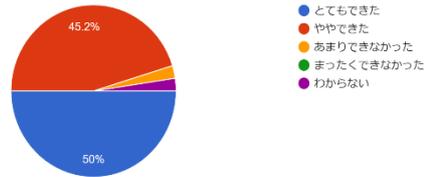
2024年7月13日(土) 第2回アンケート結果

1-1. あなたの職種を選んでください。(複数選択可)

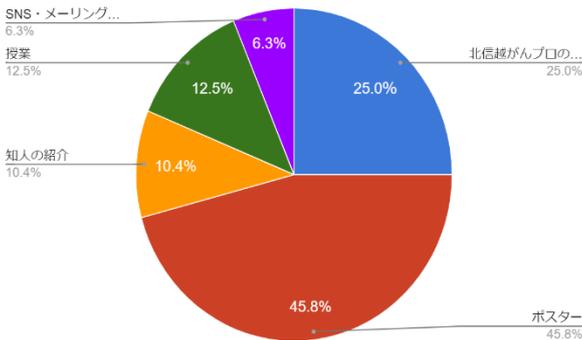


2-1.

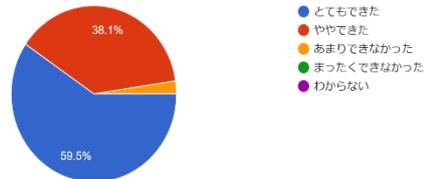
患者・家族・医療者を含めたアセスメントにおいて...事例の倫理的課題を見出すことができましたか？
42件の回答



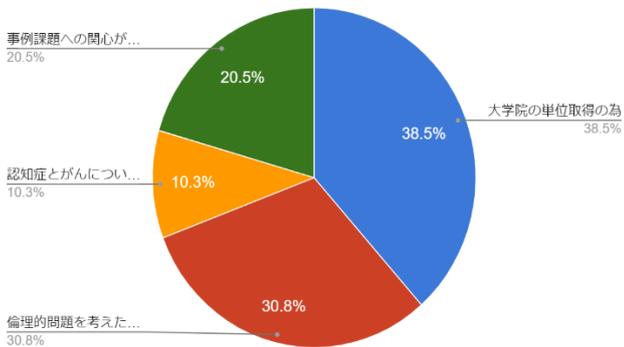
1-2. 今回の研修会の案内をどのようにお知りになりましたか。(複数選択可)



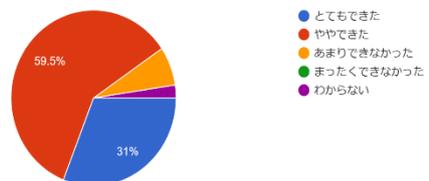
3-1. 他の職種との話し合いで、自分と他職種間...る考え・異なる考えを知ることができましたか？
42件の回答

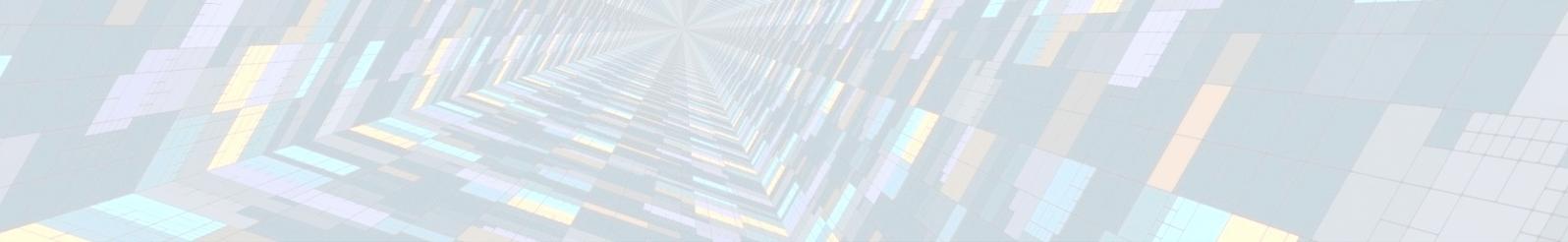


1-3. 今回の研修会参加の目的を教えてください。(例：倫理的課題への対応を模索するため、大学院授業の単位のため など。)

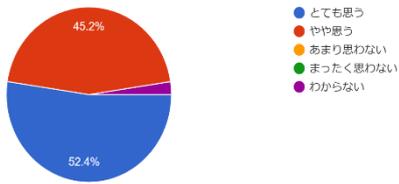


4-1. 他の職種との話し合いを通して、倫理的課...対応や解決の糸口を見出すことができましたか？
42件の回答

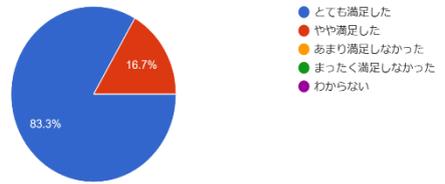




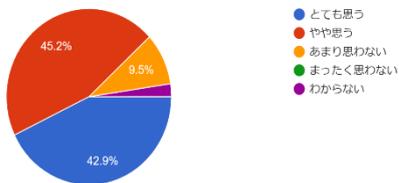
5-1. 日常にある倫理的な課題への気づきにおいて...での学びを活用することができますか？
42件の回答



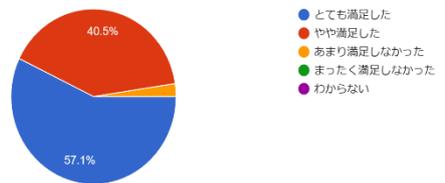
7-1. 本日の講師の講義内容はいかがでしたか？
42件の回答



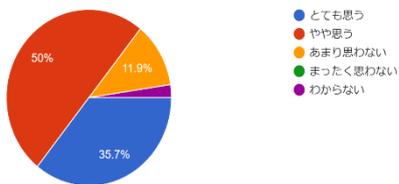
6-1. 「渡辺式」分析シートを使い、システムの...いくプロセスは、臨床で役立つと思いますか？
42件の回答



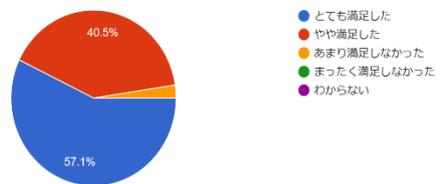
8-1. 本日の多職種協働事例検討研修（第2回倫理ジレンマ）はいかがでしたか？
42件の回答



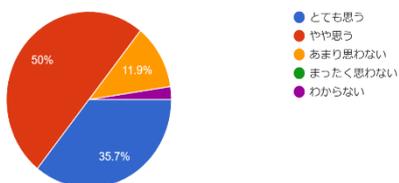
6-3. 「渡辺式」分析シートを使い、システムの...くプロセスは、臨床で活用したいと思いますか？
42件の回答



8-1. 本日の多職種協働事例検討研修（第2回倫理ジレンマ）はいかがでしたか？
42件の回答



6-3. 「渡辺式」分析シートを使い、システムの...くプロセスは、臨床で活用したいと思いますか？
42件の回答



第3部 外部評価

外部評価の実施

本年度は、下記の通りに会場およびオンラインでのハイブリッドにて、開催いたしました。

その後、外部評価委員より書面にて外部評価結果を記入、ご提出いただき、外部評価委員長による総括をいただきました。

【日時】 令和7年2月28日（金）11時30分—13時30分

【場所】 ホテル日航金沢 孔雀の間

【方式】 WEB配信（ZOOM）とのハイブリッド開催

【参加者】 参加者14名（事務陪席2名）

【次第】

11:30-11:35 開会挨拶 金沢大学理事 谷内江 昭宏

11:35-12:40 事業説明

11:35-11:50 全体報告及び金沢大学報告

金沢大学医薬保健研究域医学系 呼吸器内科学 教授 矢野 聖二

11:50-12:00 信州大学報告

信州大学医学部小児医学 教授 中沢 洋三

12:00-12:10 富山大学報告

富山大学臨床腫瘍部 教授 林 龍二

12:10-12:20 福井大学報告

福井大学医学部附属病院がん診療推進センター長 廣野 靖夫

12:20-12:30 長野県看護大学報告

長野県看護大学 成人看護学分野 教授 柳原 清子

12:30-12:40 金沢医科大学報告

金沢医科大学腫瘍内科学 教授 安本 和生

12:40-13:25 質疑応答

13:25-13:30 閉会挨拶 金沢大学医薬保健研究域医学系 呼吸器内科学 教授 矢野 聖二

【外部評価委員会会場写真】



次世代北信がんプロ外部評価委員名簿

委員長 大阪国際がんセンター 総長

全国がんプロ協議会会長

松浦 成昭

九州大学大学院医学研究院

社会環境医学講座 連携腫瘍学分野 教授

馬場 英司

愛知学院大学 薬学部 臨床薬学講座 教授

河原 昌美

石川県立看護大学 名誉教授

がんサロン「ロゴス」責任者

牧野 智恵

NPO 法人パンキャンジャパン 理事長

眞島 喜幸

外部評価結果（2025年3月書面にて実施）

外部評価結果（総括）

外部評価委員： 松浦 成昭

【評価結果】

■問題や不十分な点はない。

□一部問題や不十分な点がある。

□全体的に不十分であるか、一部に重大な問題がある。

[実施状況に関するコメント]

北信がんプロの今年度の目標人数を正規コース、インテンシブコースとも上回って履修生を確保して、順調な滑り出しをしました。E-ラーニングの教材を準備し、オンコロジーセミナーやIPW感化ケア事例検討会などの実践的な学びの場が提供され、教育内容も工夫されています。北信がんプロの達成目標でもある「地域医療機関への定着率50%以上」をめざして、次年度以降も引き続き、大学院生の確保と質の高い教育に尽力頂きたいと思えます。また、市民や患者、地域社会や地域医療機関との交流を密にいただき、情報発信・意見聴取にも尽力頂きますようお願いします。

(優れた点)

- ・4つの委員会を設置してしっかりした運営体制の元、事業を展開しています。
- ・各大学、正規およびインテンシブの各教育コースについて、目標を上回る履修生を確保しました。
- ・3つのテーマに幅広く多くのE-ラーニング教材を準備しました。
- ・オンコロジーセミナーやIPW緩和ケア事例検討会など実践的な学習環境の提供に努めました。特にIPW緩和ケア事例検討会は多職種の参加を得て、意義深い会と評価できます。
- ・セミナー・市民公開講座も活発に開催して、医療者や市民への情報発信に努めました。
- ・ホームページを見やすいものに改変しました。

(改善を要する点)

- ・E-ラーニングによる学習効果の評価をして頂きたい
- ・患者会との企画を行い、患者の声を聞いて問題点を見出す機会をさらに作ることが望まれる
- ・セミナー・研修会の参加者のアンケート調査を行うとともに、その教育盛夏や人材育成についての実績を示して頂きたい
- ・北信地域でできるだけ人材育成の均てん化が図れるように、大学間の交流をさらに考慮頂きたい
- ・セミナー・市民公開講座はさらに多くの地域の人が参加・視聴できるように配慮頂きたい

外部評価結果（各委員の評価）

外部評価結果（委員提出用）

氏名（署名）： 松浦 成昭

【評価結果】

- 問題や不十分な点はない。
- 一部問題や不十分な点がある。
- 全体的に不十分であるか、一部に重大な問題がある。

[実施状況に関するコメント]

今年度は第4期がんプロの実質的な初年度にあたる年でしたが、各大学のすべての正規コース、インテンシブコースで履修者が目標値を達成したことを高く評価します。教育の基礎となるE-ラーニングの教材も各大学が分担して多数のコンテンツをそろえました。また、オンコロジーセミナー、IPW緩和ケア事例検討会も多くの参加者を得て、活発に実施しました。北信がんプロ全体の市民公開講座も開催し、ホームページその他で、様々な形で、一般市民への発信に努めた点も評価されます。滑り出しとしては上々と思いますので、引き続き次年度も頑張っていたきたいと思います。

(優れた点)

- ・運営体制として次世代北信がんプロ運営協議会が全体を管轄して、その下にある4つの委員会がそれぞれ進捗管理をしている体制で、優れた運営体制と評価します。
 - ・がんプロは人材育成事業なので履修生の数が最も重視されます。その点で、初年度から全大学ですべての正規コース、インテンシブコースで目標を上回る履修生を確保したことは高く評価されます。各大学、各コースの担当者の熱意と努力に敬意を表します。
 - ・教育コースの職種も医師・看護師・薬剤師・医学物理士・細胞検査士・認定遺伝カウンセラーとバラエティに富んでおり、特に金沢大は多職種の教育コースをそろえて頂きました。
 - ・外部からの意見を取り入れてテーマ1の腫瘍循環器コースを富山大学に設置したことは、外部の意見も傾聴しながら事業を進めている証です。
 - ・各大学が分担協力して、多数のE-ラーニングの教材を作成されたことも特筆ものです。
 - ・多職種連携演習であるオンコロジーセミナーを8回、IPW緩和ケア事例検討会を6回、計画通りに実施しており、多数の多職種の参加者を確保していることも評価されます。
- 大学院生交流セミナーは大学間の交流の意味で素晴らしい取り組みと思います。がんプロ経験者にも参加をしてもらうことは大きな意義があると思います。優秀発表の表彰は良い刺激になったことと思います。
- ・オンコロジーセミナー、IPW緩和ケア事例検討会以外にも各大学が独自にたくさんのセミナーを実施しました。特に長野県立看護大学の「がん看護アドバンス研修」「長野がん看護/家族看護研究会は素晴らしい取り組みです。福井大学の「がん医療スキルアップセミナー」も優れた取り組みです。金沢大学・富山大学・金沢医科大学の共催の形でセミナーを開催したことは評価したいと思います。
 - ・市民向けの発信として、福井大学が中心となって北信がんプロ合同市民公開講座も良い内容で素晴らしいイベントです。金沢大・金沢医大・富山大も独自に市民向けの講演会を実施しました。

(改善を要する点)

・第4期がんプロの実質的な初年度でしたが、順調な滑り出しで全体として改善を要する点はありません。次年度も履修生を確保して、教育の質を保ち人材育成に励んで頂くことを期待します。

・北信がんプロのポンチ絵にもあります(「Colors等と連携」とあります)が、次年度は患者会と連携したイベント(あるいは患者にも参加してもらってのディスカッション)を考慮頂ければと思います。

・ホームページは優れていますが、今後、がんプロの成果(履修生の人数だけでなく)を発信できればさらに良いと思います。「実績報告」の欄がありますが、第3期がんプロ時代の学生の報告が掲載されているだけです。これも残してよいと思いますが、現在の学生の報告はまだ無理でしょうか?オンコロジーセミナーやIPW検討会の報告でもよいと思います。

(お願いしたい点)

・各大学のセミナー・市民向け講演会などのイベントはできるだけアンケートを取って、人数・職種・大学や満足度などを調べて頂ければと思います。オンコロジーセミナー・IPW 事例検討会は北信がんプロ全体にとって大切なので、人数だけでなく、職種・大学・評価を調べて下さい。

・文科省の推進委員会でも指摘されてましたが、養成職種が金沢大以外は少なく、できるだけ大学間の連携が求められていますので、交流が盛んであるという印象を与える調査結果とイベントを考えて頂ければと思います。

・外部評価委員会ではプレゼンの資料だけでなく以下のものも準備(あるいは後送)して頂けないでしょうか?プレゼンは時間や枚数もあるので、アピールしたい点を中心になるのは致し方ありません。一方、がんプロの事業全体を拝見したいので、もう少し細かい資料もプレゼン資料と別に頂ければありがたいです。

1) 履修生の専門資格取得状況、就職先(第4期がんプロはまだ修了生が出ていませんが、第3期がんプロが動いていると思いますので、それも教えて頂ければと思います)。この意味では金沢大に5名が細胞検査士を取ったことは素晴らしいと思います。

2) セミナー・講演会などの案内チラシ。プレゼン資料に貼り付けていますが、全部ではないと思いますし、内容が見えないものもあります。

3) セミナー・講演会などの参加者の調査・分析の結果も調べて教えて頂ければと思います(上記)。北信がんプロの特長として地域医療機関との連携がよいと思われまますので、この調査から地域医療機関と連携・交流していると発信できると思います。

4) 論文・学会発表等の業績リスト:がんプロ大学院生のactivityの参考になりますので、これらも提示して頂ければと思います。共著者でもよいと思います。

・ホームページでは、信州大学がんプロのホームページが第3期がんプロから更新されていないので、他の大学同様に、新規がんプロのホームページを作成頂きたいと思います。

・北信がんプロホームページは改変いただき大変見やすく内容もよくなったと思います。また、北信がんプロホームページからリンクされている長野県立看護大・福井大・富山大・金沢医大の各ホームページも良くできていて、発信力があると思います。

外部評価結果（各委員の評価）

外部評価結果（委員提出用）

氏名（署名）： 馬場 英司

【評価結果】
<p><input checked="" type="checkbox"/> 問題や不十分な点はない。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部問題や不十分な点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 全体的に不十分であるか、一部に重大な問題がある。</p>
<p>[実施状況に関するコメント]</p> <p>北信がんプロ事業を実施するにあたり、4つの委員会を設置しそれぞれの分野について責任を持って事業を推進しています。その結果、拠点全体として連携した活動の実績が上がり、貴拠点が方針として掲げられているシームレスながんプロ教育が実現できていると考えます。</p> <p>次世代のがんプロ事業で育成を目指している人材の3つのテーマについて、それぞれの大学においてバランス良くコースが設定されています。各大学は昨年度の準備期間を経て、魅力的ながんプロ教育のコースを設置し履修生の獲得に努めた結果、いずれのコースにおいても履修生を確保し、目標数を上回ったことは高く評価されます。それぞれの大学や地域の特徴に合わせた人材育成の目標を設定し、それに沿った教育を的確に実施していると考えます。</p>
<p>(優れた点)</p> <p>教務委員会を中心に大学間で協力し、3つのテーマの全ての分野についてのE-ラーニングの教材を作成して、すでに全国に提供していることは優れた実績といえます。</p> <p>各大学の大学院生が対面で交流するセミナーでは多くの演題が発表され、優れた演題を表彰するなど意義深い行事と考えます。また長野県看護大学が主催するIPW緩和ケアコース多職種協働事例検討は、看護師だけでなく、医師、薬剤師など多職種が毎回多数参加し、頻繁に開催されており、これも大学間連携が深まる重要な事業と思います。</p> <p>金沢大学は特に7つの大学院正規課程コース、3つのインテンシブコースを設置し、次世代のがんプロプランの求める人材養成に向けて成果が期待されます。</p> <p>信州大学では新規がん治療を開発できる人材として、CAR-T療法の研究を積極的に進めており、これにがんプロ履修生が関わることは重要と思います。</p> <p>富山大学では腫瘍循環器領域や生殖医療の専門家の育成を目指すなど、独自性が見られます。</p> <p>福井大学では地域の特徴に対応したがん専門人材の育成と、その社会への情報提供の努力がなされていることに感銘を受けました。</p> <p>金沢医科大学を中心とした広範囲のがん関連データベース作成事業の成果が期待されます。</p>
<p>(改善を要する点)</p> <p>全体の活動として医師会、自治体、患者会などとの連携が掲げられていますので、その様子が具体的に示されれば良いと思います。またデータベース委員会の活動も、よりがんプロとの関係が明確になることを期待します。がんプロ事業として、他拠点との合同事業、国際的な活動についても今後ご検討頂ければ幸いです。</p>

外部評価結果（委員提出用）

氏名（署名）： 河原 昌美

【評価結果】
<input checked="" type="checkbox"/> 問題や不十分な点はない。 <input type="checkbox"/> 一部問題や不十分な点がある。 <input type="checkbox"/> 全体的に不十分であるか、一部に重大な問題がある。
[実施状況に関するコメント] 令和6年度は、各大学が事業に積極的に取り組み多くの成果をあげたことが高く評価できる。次年度は、これらの成果によって育成されたがんプロ履修生が、北信がんプロの達成目標でもある「他医療機関への定着割合50%以上」を目指し、全てのがん患者と家族が安心して医療を受けることができるよう、裾野を広げた活動の開始を期待したい。 正しいがん医療を推進するためには、医療従事者だけでなく、市民や患者との双方向の情報共有が大きな推進力となると考えられる。北信がんプロ履修生のさらなる活動の場のひとつとして、体制整備が望まれる。
(優れた点) 金沢大学：e-leaningをはじめとし、計画に従い順調に事業を展開している 信州大学：新規治療法開発研究および遺伝カウンセラー養成への取り組み 富山大学：腫瘍循環器学コース開設、生殖医療啓発講演会開催 福井大学：がん診療の情報冊子改訂、専門医MAP作成によるシームレスな医療体制作り 長野看護大学：認定看護師育成実績、他職種による症例検討研修の充実 金沢医科大学：人材育成に向けた研修会開催、データベース事業の計画
(改善を要する点) <ul style="list-style-type: none">・大学院正規課程コースのうち、医療職及び医療職以外を対象としたコースで、実際の入学者の職種状況が不明で、今後のチームへの還元が見えにくい部分がある。薬学部がある大学においては、実臨床で薬物治療に貢献する薬剤師養成のさらなる活性化を期待したい。・多方面の研修会開催による成果や人材育成への貢献について具体的な実績報告を期待する。・市民や患者の声を聞き、情報共有することで、隠れた問題点を見出す機会が望まれる。

外部評価結果（委員提出用）

氏名（署名）： 牧野 智恵

【評価結果】
<input type="checkbox"/> 問題や不十分な点はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 一部問題や不十分な点がある。 <input type="checkbox"/> 全体的に不十分であるか、一部に重大な問題がある。
〔実施状況に関するコメント〕 ・金沢大学をはじめとして、各大学が連携を取りつつ、がん医療人の育成に尽力している様子がうかがえた。各大学院への入学者やインテンスブコースへの入学者数も予定以上であり、大いに評価でき素晴らしいと思う。この人数の継続を。 ・3期までの修了生（がん看護専門看護師、医師）に講師などを依頼し、教育に生かしている点がいいと思った。 ・長野県看護大学での、事例検討会には、看護師だけでなく、医師や多職種の関係者が参加し、3時間もの意見交換ができていたことは素晴らしいと思う。3期までのがんプロで課題だった内容を踏まえて実施できている。
（優れた点） 私は看護者なので、主にその視点からのコメントをさせていただきます。しかし、ゲノムやがん治療などの発展のために各医学部が尽力していることは、過去の3期の様々な意見を考慮しており高く評価できます。 ・まだ2年目にして、本科生、インテンスブコースともに予定人数を大きく超えていることは評価できる。 ・福井大学が実施した、市民公開講座での参加者が、130名とリモートからも90名と、多くの参加者が多いことは評価できる。特に、会場にはほぼ患者さんやその家族であり、患者のための市民公開講座になっていたと思う。 福井大学が、中小の教員を対象にがん教育を実施していることも、患者の子供へのサポートにつながり、いい企画である。他県も是非実施してほしい。 ・信州大学の遺伝カウンセラーコースの実施も今後パネル検査の結果を受け不安な人も多くなることを考えると、大切なコースであり評価できる。5名の細胞検査師の合格も評価できる。 ・長野県立看護大学での、IPW 緩和ケアコースで、医師、看護師、薬剤師などの多職種が参加し、3時間にわたりディスカッションして言うことは、今後のチーム医療の発展のためにも評価できる。

(改善を要する点)

- ・今回の北信がんプロの特徴の一つである、「シームレスな医療を担う人材育成」の特徴を出したプログラムがあるとさらにいいと思う。
- ・大学院交流セミナーの開催はこれまでも実施しており、さらにパワーアップしているので評価できる。できれば看護師の本科生も参加してほしかった。
- ・今後、患者会やがんサロンなどとのジョイント企画を実施し、患者の生の声にこたえる企画などを実施すると、より患者の意見に沿ったがん医療人育成につながると思う。
- ・長野県看護大学の教育はとても頑張っているが、事例検討会などのポスターの案内を、石川県内、富山県内、福井県内のがん拠点、がん連携病院、一般病院などにも案内し、看護師のレベルアップに力をさらに入れるといい。今は、長野県内が中心のように感じる。

外部評価結果（委員提出用）

氏名（署名）：真島 喜幸

【評価結果】

- 問題や不十分な点はない。
- 一部問題や不十分な点がある。
- 全体的に不十分であるか、一部に重大な問題がある。

[全体の実施状況]

・次世代北信がんプロ養成講座は、北信地域におけるがん医療の専門人材を育成するために、多職種・多施設の連携を重視した包括的なプログラムとして実施されています。

特に、大学院正規課程 162 名、インテンシブコース 319 名の履修生受け入れを達成しており、目標に向けて順調に進んでいることが伺えます。

また、オンコロジーセミナーや IPW 緩和ケア事例検討会といった実践的な学びの機会が提供され、履修者が現場で活用できるスキルを獲得できるよう工夫されています。さらに、市民公開講座や大学院生交流セミナーの開催を通じ、地域社、会への 1 胃報発信と研究者の交流が促進されている点も評価できます。

（優れた点）

・多職種連携を意識したカリキュラム

がん医療には、医師だけでなく、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師、カウンセラーなどの専門職の連携が不可欠である。本プログラムは、がん薬物療法、緩和ケア、遺伝カウンセリングなど、多岐にわたる専門コースを設けることで、がん医療の多職種チーム育成に貢献している点は高く評価できます。

・実践的な学習環境の提供

e-learning を活用した基礎学習に加え、オンコロジーセミナーや IPW 緩和ケア事例検討会など、現場での応用力を高める機会が充実しています。特に、セミナー参加者数が多く、活発な学びの場となっていることが伺える内容なので評価できます。

・地域医療の充実を目的とした人材育成

本プログラムの大きな特徴は、「がん患者が居住地でシームレスに診断・治療・終末期医療を受けられる体制」を目指している点です。難解な課題である履修者の地域医療機関への定着割合について、50%以上という高い目標を掲げ、北信地域全体のがん医療向上に貢献しようとする姿勢が明確な点は高く評価できます。

・がん予防・治療・緩和の各フェーズに対応がん医療の課題に対応するため、がん予防、診断、治療、新たな治療法開発まで幅広い視点で

講義が構成されている。特に、CAR-T 療法や免疫チェックポイント阻害治療などの最新治療にも対応しており、将来のがん治療を支える人材育成につながる内容となっている点は高く評価できます。

(改善を要する点)

•履修者の地域偏在の解消

現在、履修者の数は一定数確保されているが、特定の大学やコースに集中している傾向が見られます。特に、金沢大学や長野県看護大学の受講者数が多い一方で、一部の大学の履修者が少数にとどまっています。今後、地域全体で均等な人材育成を図るための取り組み、例えば、遠隔講義の活用や他大学との合同研修の強化などがさらに開発されることが望まれます。

• e-learning の活用促進と学習効果の評価

e-learning を活用した学習環境は優れていますが、学習効果の評価方法が明確でない部分があります。例えば、履修者の習得度を測るための定期的な理解度チェックや修了時の簡単なクイズを導入することで、学習成果をより可視化してみるのも良いと思います。

• 市民公開講座のさらなる拡充

がん医療は、医療従事者だけでなく患者・家族、一般市民にも関わる重要なテーマです。現在、市民公開講座が開催されていますが、より多くの市民が参加できるよう、オンライン配信の強化（例えば、市民公開講座を配信する北信がんプロ専用 Youtube チャンネルの開設等）や地域別の開催を検討すると、より広い層へ情報発信が可能になると思います。

施設別評価：

1.金沢大学

金沢大学のがんプロは、多職種の専門人材を育成し、がん医療の発展に大きく貢献しています。

博士・修士課

程を通じ、医師・薬剤師・診療放射線技師・看護師など多様な分野の専門家を養成し、特に放射線・粒子線治

療やがん予防分野の教育に強みを持ちます。

(優れた点)

- 目標達成率の高さ（放射線診療コースは 11/5 など）
- e-learnin 教材開発・オンコロジーセミナー開催
- 資格取得層の輩出（細胞検査士 4 名）

(改善点)

- 一部コースの受入数不足（遺伝カウンセラーなど）
- 修了生のキャリアフォロー強化
- 教育プログラムの実績可視化と全国的な連携強化

今後、受講者の拡充と教育成果の発信を強化し、さらなる発展が期待されます。

今後、プログラムの規模拡大と成果の発信を強化し、より多くの人材育成に貢献することが期待されます。

2. 信州大学

信州大学のがんプロは、特に遺伝カウンセリングとがん免疫療法の分野に強みを持つ教育プログラムを提供し、北信地域におけるがん医療の発展に貢献しています。がん予防や新規治療法開発に特化した修士・博士課程コースを設置し、遺伝カウンセラーや創薬研究者の育成に注力しています。CAR-T療法を中心とした遺伝子・細胞治療の研究も活発で、大学発の臨床試験も推進しています。

(優れた点)

- 国内初の「がん診療に詳しい認定遺伝カウンセラー」育成(25名輩出)
- CAR-T療法を中心とした遺伝子・細胞治療の臨床研究
- 米国ベイラー医科大学との国際連携
- c-learning教材やオンコロジーセミナーでの学習機会提供

(改善点)

- 受入目標人数の少なさ(修士1名/年、博士2名/年)が見られるので、さらなる拡充が必要
- 修了生のキャリアパスの詳細な追跡・支援強化
- 全国的な教育・研究機関との連携強化

今後、プログラムの規模拡大と成果の発信を強化し、より多くの人材育成に貢献することが期待されます。

3. 富山大学

富山大学のがんプロは、チーム医療の充実と地域貢献を重視した教育プログラムを展開し、がん医療の多職種

連携を推進しています。特に「腫瘍循環器学コース」など新規領域にも取り組み、受入目標数を超える登録者を確保するなど、教育体制の拡充が評価できます。また、e-learning作成を統括し、次世代北信がんプロ全体の教育基盤強化にも貢献しています。

(優れた点)

- チーム医療・地域医療に特化した教育コース設置(目標超えの受入実績)
- e-learning作成の統括により、教育資源の整備を推進
- 市民公開講座や生殖医療啓発など、一般向け教育活動が活発。オンラインコンサルテーション導入計画により、地域医療への貢献を強化

(改善点)

- リモートコンサルテーションの実装(クラウド導入の調整を進める)
- 修了生のキャリア支援強化(卒業後の進路追跡とネットワーク形成)
- 全国的な連携強化(他大学・研究機関との共同研究や教育プログラムのシナジー向上)

今後、遠隔医療の実装や卒業生支援を充実させ、地域と全国レベルでのがん医療人材育成をさらに強化することが期待されます。

4. 福井大学

福井大学のがんプロは、市民教育とがん診療の最前線を伝える活動を強化しており、地域社会への貢献が大きな特徴です。特に、合同市民公開講座と「がん診療最前線」講座を統合し、多様ながん治療（CAR-T療法、がんゲノム医療、緩和ケアなど）について、専門家が講演を行う形式は高く評価できます。

（優れた点）

- 合同市民公開講座の開催により、一般市民へのがん知識の普及を推進
- 多様ながん治療をテーマにした講義（CAR-T療法、ゲノム医療、緩和ケアなど）
- 他大学との連携強化による教育・研究の発展

（改善点）

- 大学院生向けの専門教育プログラムにおいて研究者・臨床医育成の体系化が必要
- 教育の全国的な発達の強化（学術的な成果をより可視化）
- 他大学との共同研究や実践的な連携のさらなる促進

今後、教育プログラムの体系化と全国規模の連携を強化し、より実践的ながん医療人材の育成を推進することが期待されます。

5. 長野県看護大学

長野県看護大学のがんプロは、緩和ケアとがん看護の専門人材育成に特化しており、特に多職種協働（IPW）緩和ケアコースを通じた実践的教育が充実しています。がん CNS（がん看護専門看護師）コースや緩和ケアゼミナールにおいて、多くの大学と連携し、がん看護の質向上に貢献しています。がん CNS コース修了生の認定試験合格率 100%も強みです。

（優れた点）

- がん CNS・緩和ケア分野での専門人材育成（修了生の高い合格率）
- IPW 緩和ケアコースでの多職種連携教育（年間 6 回、計 251 名参加）
- 市民・一般看護師向けセミナー開催（長野がん看護／家族看護研究会）
- 複数の大学と連携し、広域でのがん看護教育を推進

（改善点）

- e-learning 教材の整備が未完成なので早期公開が望まれる
- 大学院入学者数の減少（2025 年修士 1 名）が見られるので受講者拡大策が必要
- 修了生のキャリア支援強化（就職先・実務での活躍の追跡）

今後、e-learning の活用と受講者拡大を進めつつ、修了生のキャリアフォローを強化し、がん看護分野のさらなる発展を期待します。

5. 金沢医科大学

金沢医科大学は、新たに北信がんプロに参加し、分子病理とがん遺伝子に基づく個別化医療に特化した教育プログラムを展開しています。2024年度は正規課程・インテンシブコースの履修生を各1名受け入れ、FD講演会やオンコロジーセミナーを開催するなど、教育・研究の基盤整備が進んでいます。また、院内がん登録データの収集・活用を推進するデータベース事業も特徴的です。

(優れた点)

- がん個別化医療・分子病理学に特化した人材育成（専門的な教育コースの設置）
- 北信がんデータベース事業の推進（データ活用による研究基盤強化）
- FD講演会・オンコロジーセミナーの積極的開催（専門知識の普及）
- 市民公開講座の実施(YouTube ライブ配信での情報発信)

(改善点)

- 履修生の受入数拡大（今後の受講者増加が課題）
- 教育プログラムの体系化（今後の履修生向けカリキュラムの充実）
- 研究成果の発信強化（学術論文や学会発表の推進）

現在は基盤整備の段階ですが、今後、履修生の増加と教育・研究のさらなる充実により、がん個別化医療の分野での貢献が期待されます。